

マルチウェルディングモニターイーサネット通信ソフト

WM-A Ethernet JPN

取 扱 説 明 書

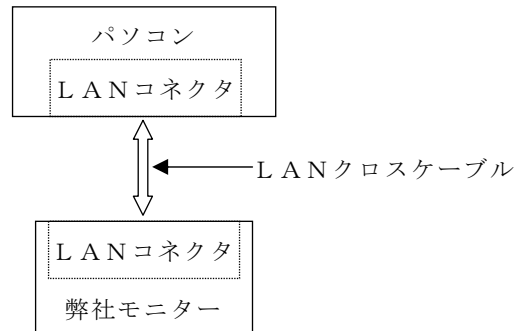


概要

Windows XP上で動作し、弊社モニターが取得したデータを、イーサネットを介して、パーソナルコンピュータに表示・保存するシステムです。誤動作の原因となりますので測定しない場合は接続をしないでください。

システム構成は次のようになります。

バブを使用すると、複数台のモニターを接続することができます。



必須環境

OS	Windows XP / Windows XP SP2 (日本語版)
CPU	Intel Pentium 4 3GHz 以上推奨
メインメモリー	1GB 以上推奨
ハードディスク空き容量	1GB 以上推奨

(デスクトップ上に置くファイルやソフトは極力少なくしてください。)

(スクリーンセーバーは無効にしてください。)

(ファイアウォールは無効にしてください。)

(常駐ソフトは極力少なくしてください。)

(パソコンの設定、操作に関しては、お客様にて処理してください。)

(パソコンに関するトラブルやWindowsに関するトラブルは、関知いたしませんので、お客様でご対応してください。)

(Microsoft .NET Frameworkがインストールされていない場合は、Microsoft .NET Framework 1.1以上をインストールをしてから本ソフトウェアをインストールしてください。)

注意：本ソフトをご使用になる場合、本ソフトの機能で自動保存機能がありますので設定してお使いください。

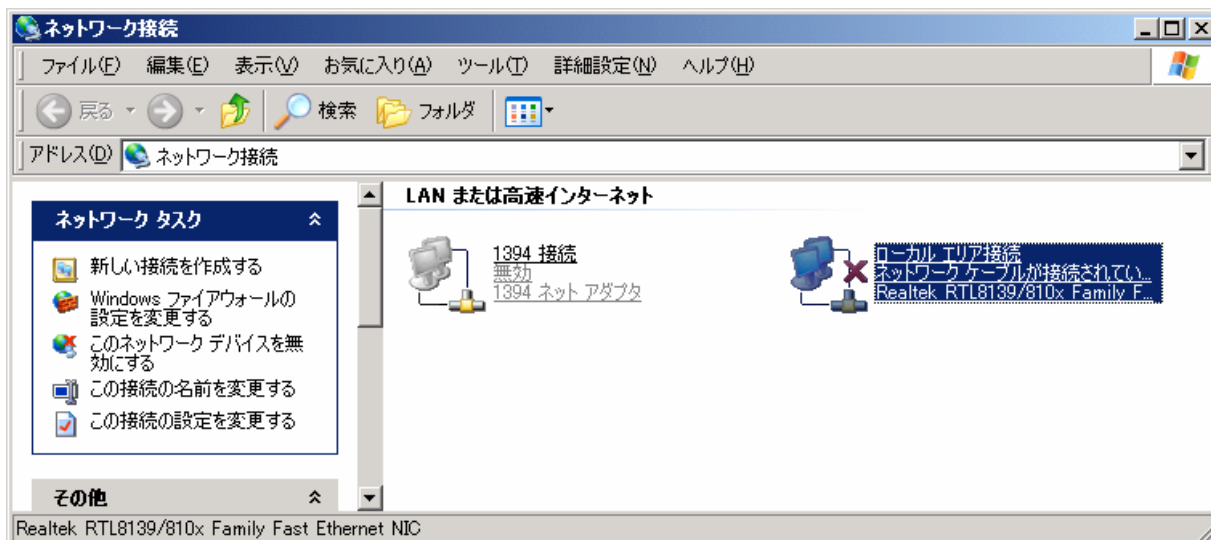
パソコンの異常等により通信機能が遮断されたり、本ソフトが作動しなくなったりした場合、自動保存機能を使用すれば、すべてのデータを失わずに済みます。

コンピュータのマイネットワークの設定 (Windows XP の場合)

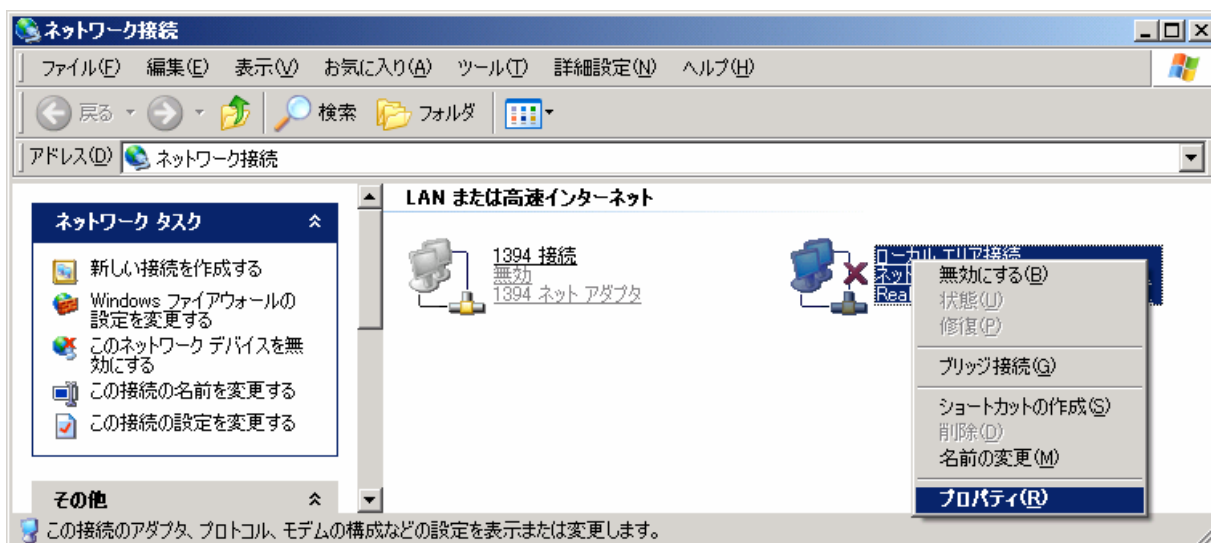
※パーソナルコンピュータのネットワークを設定して使用します。

1. ネットワーク接続を表示します。

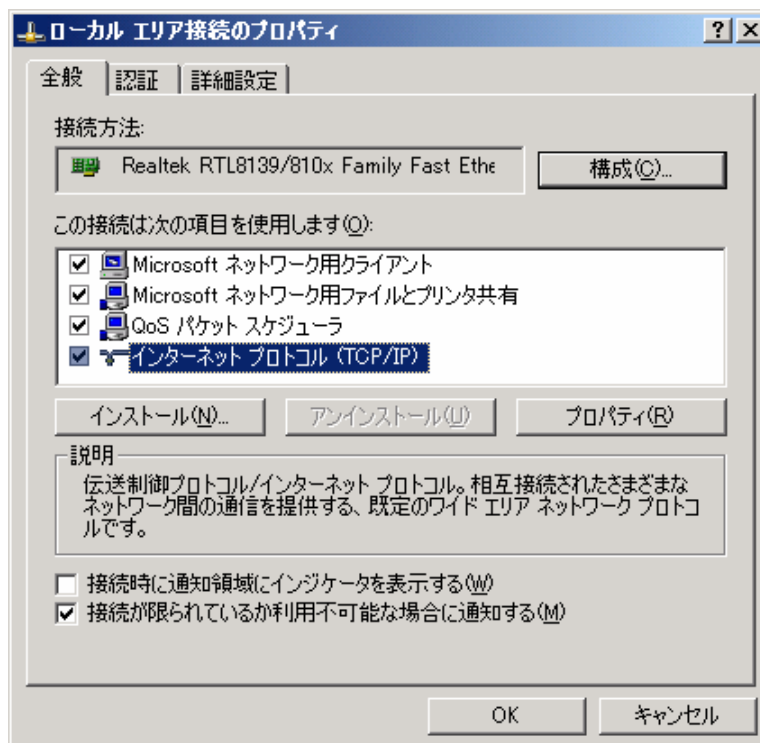
ネットワーク接続を設定する場合は、「Administrator」で設定してください。



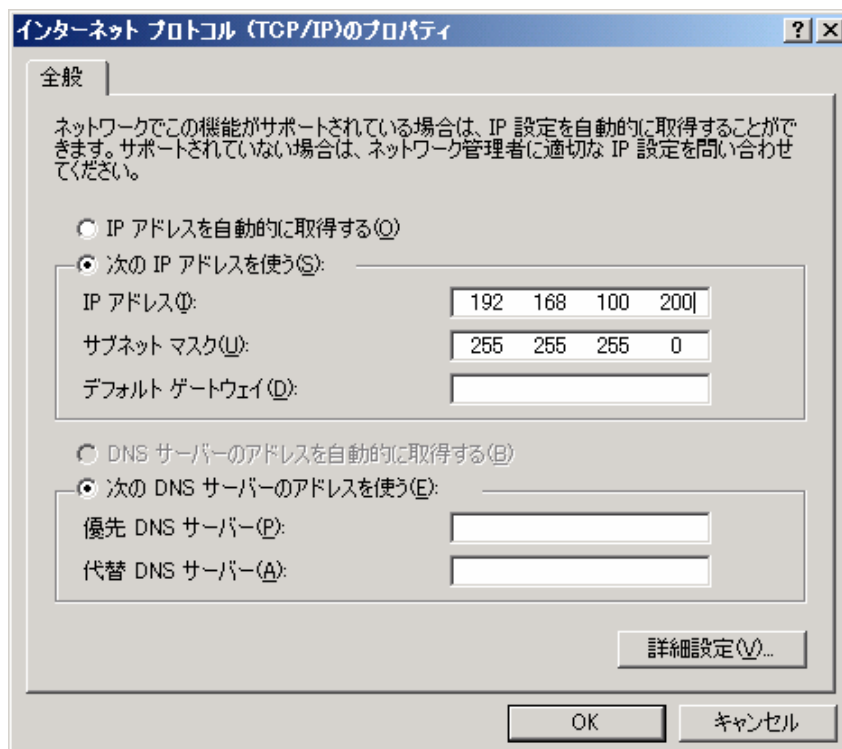
2. ローカルエリア接続にカーソルを右クリックしてのプロパティをクリックします。



3. 下図が表示されたら、お使いの TCP/IP をダブルクリックします。



4. IP アドレスとサブネットマスクを設定してください。サブネットマスクは、下記のように設定してください。貴社の社内 LAN に接続してご使用になる場合は、下記例の、IP アドレス「192.168.100.200」はアマダミヤチで使用しているものなので使用しないでください。実際に入力するときは、貴社の IP アドレスをご使用ください。また、XPort に設定した IP アドレス以外ものを設定してください。社内 LAN に接続しないでご使用になる場合は、下記 IP アドレスを使用することができます。



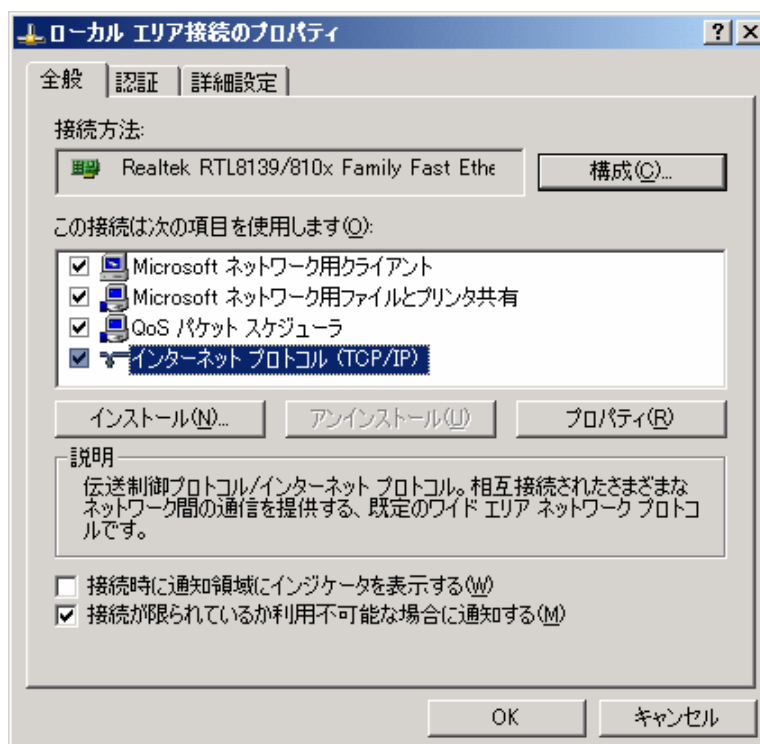
以上の入力終了したら、OK を押してください。

5. ネットワークの接続を有効にしてください。
モニターに電源が投入されていて、LANケーブルが接続されている場合は、接続されます。

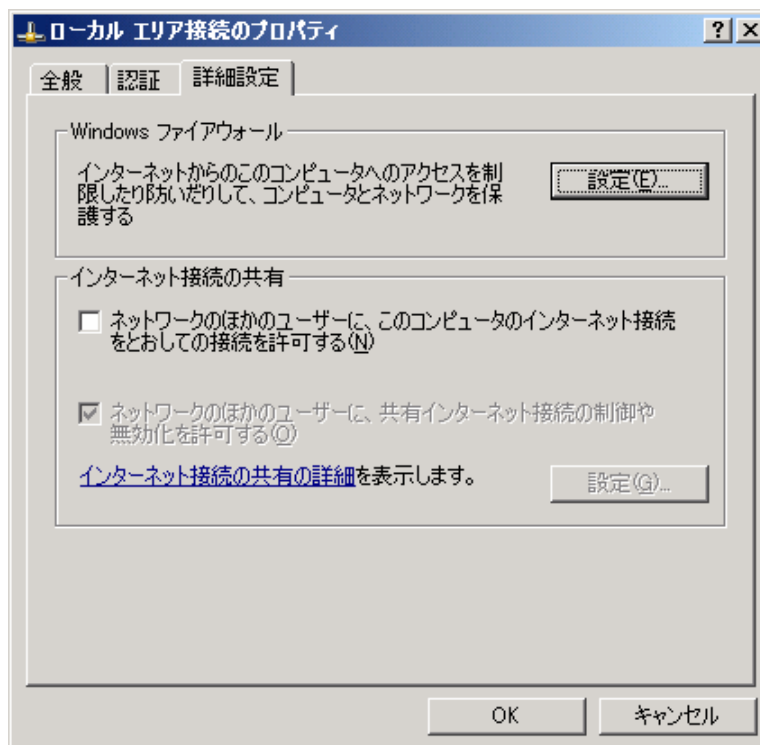


以上で、ネットワークの設定は終了です。

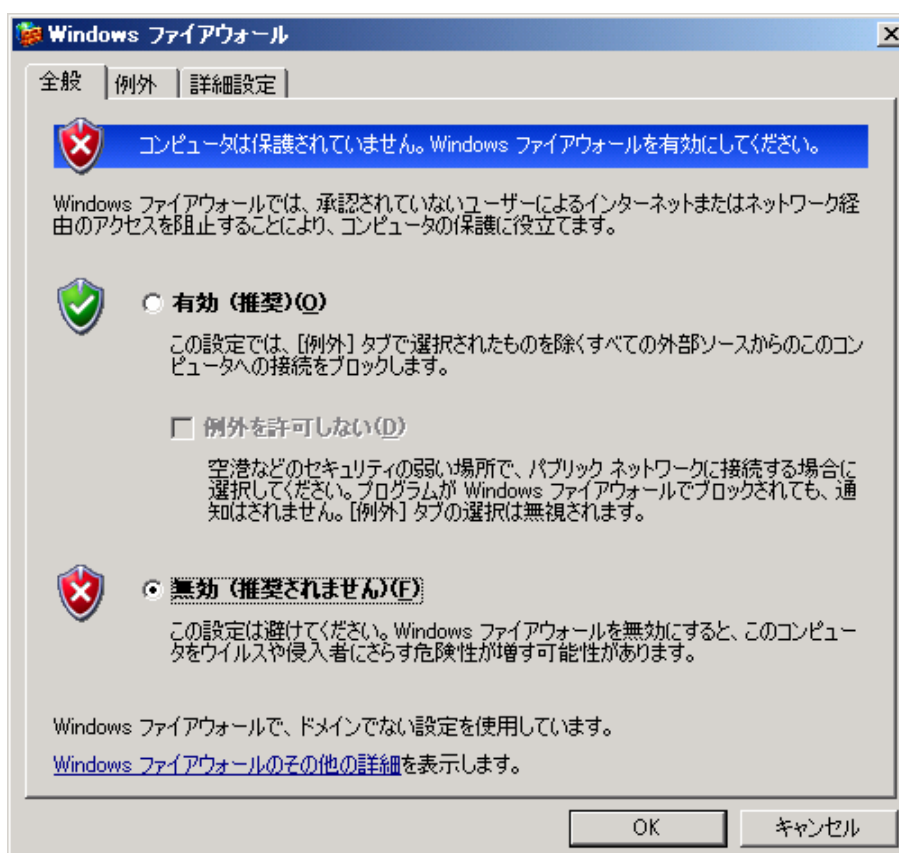
6. ファイアウォールの無効設定は、ローカルエリア接続のプロパティの詳細設定をクリックします。



7. Windows ファイアウォールの“設定”をクリックします。



8. “無効”を選択し、“OK”をクリックします。



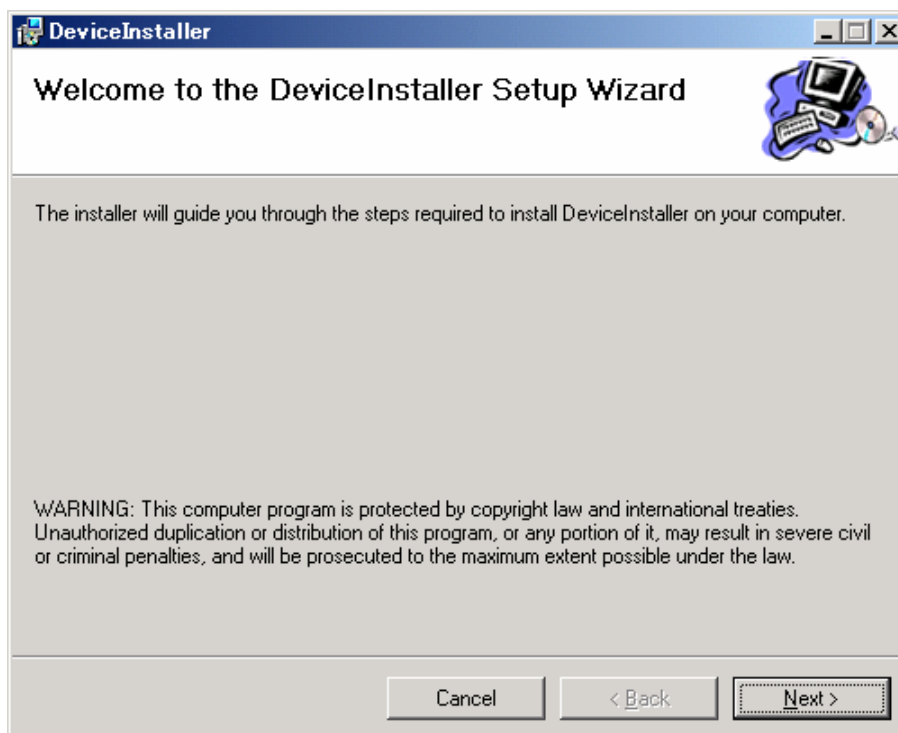
XPort_DeviceInstaller_3606のインストール

※XPort_DeviceInstaller_3606にて、XPortのボーレートおよびIP Addressを設定します。

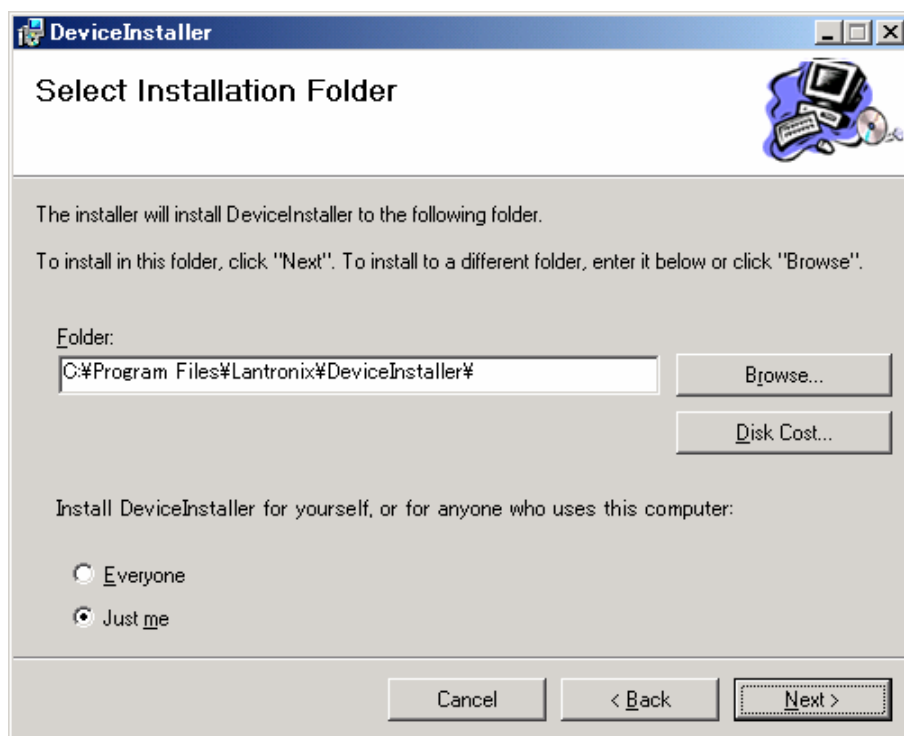
1. 「XPort_DeviceInstaller_3606」フォルダ内の“Setup.exe”をダブルクリックします。



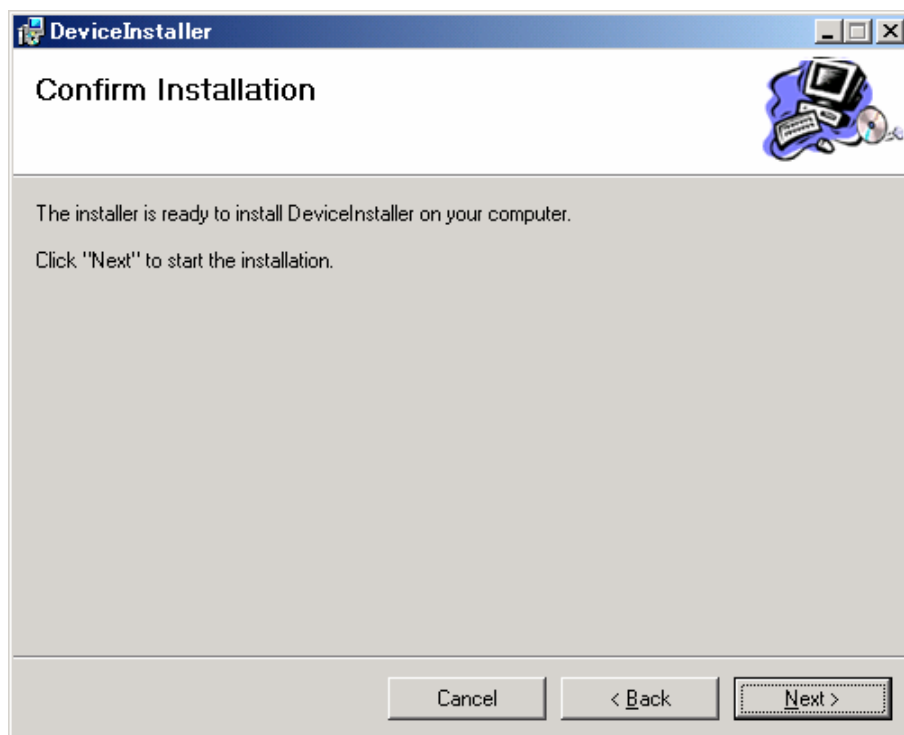
2. 下記画面が表示されます。“Next >”をクリックします。



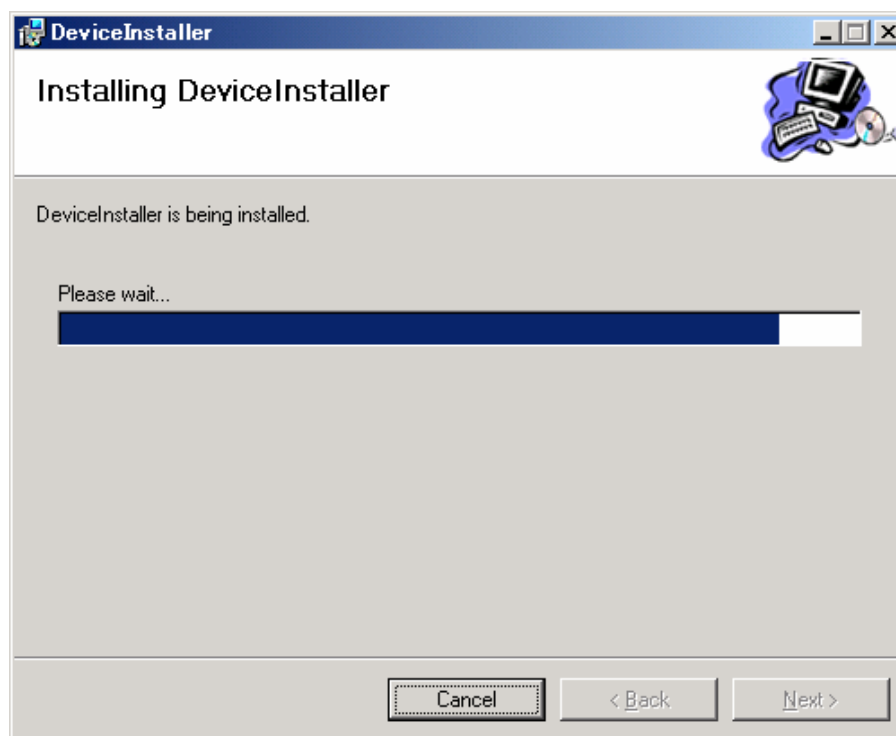
3. 下記画面が表示されます。“Next >” をクリックします。



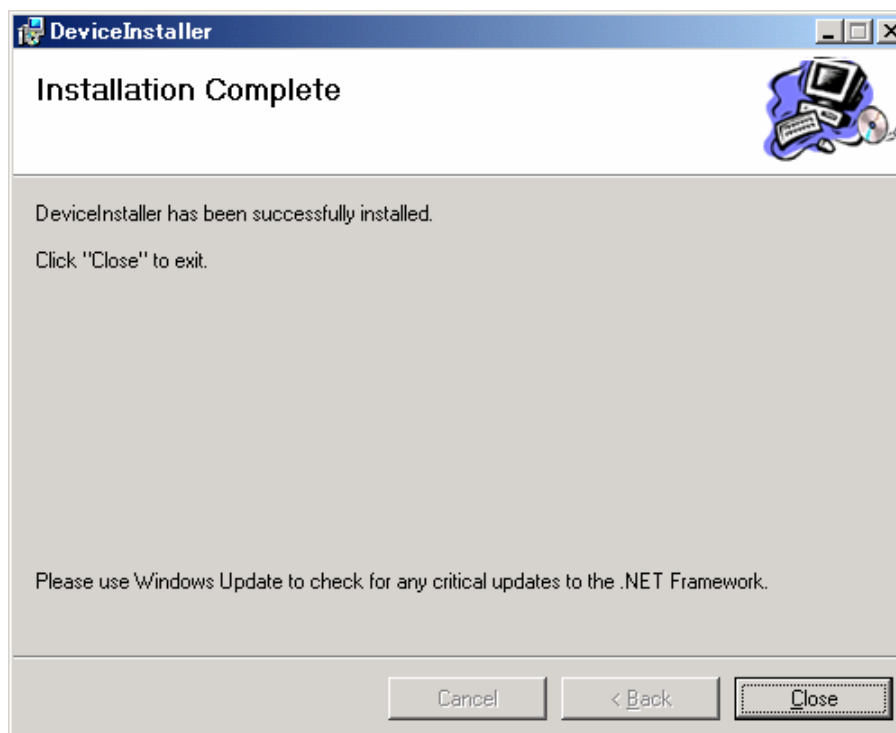
4. 下記画面が表示されます。“Next >” をクリックします。



5. 下記画面が表示されます。



6. 下記画面が表示されます。“Close”をクリックします。



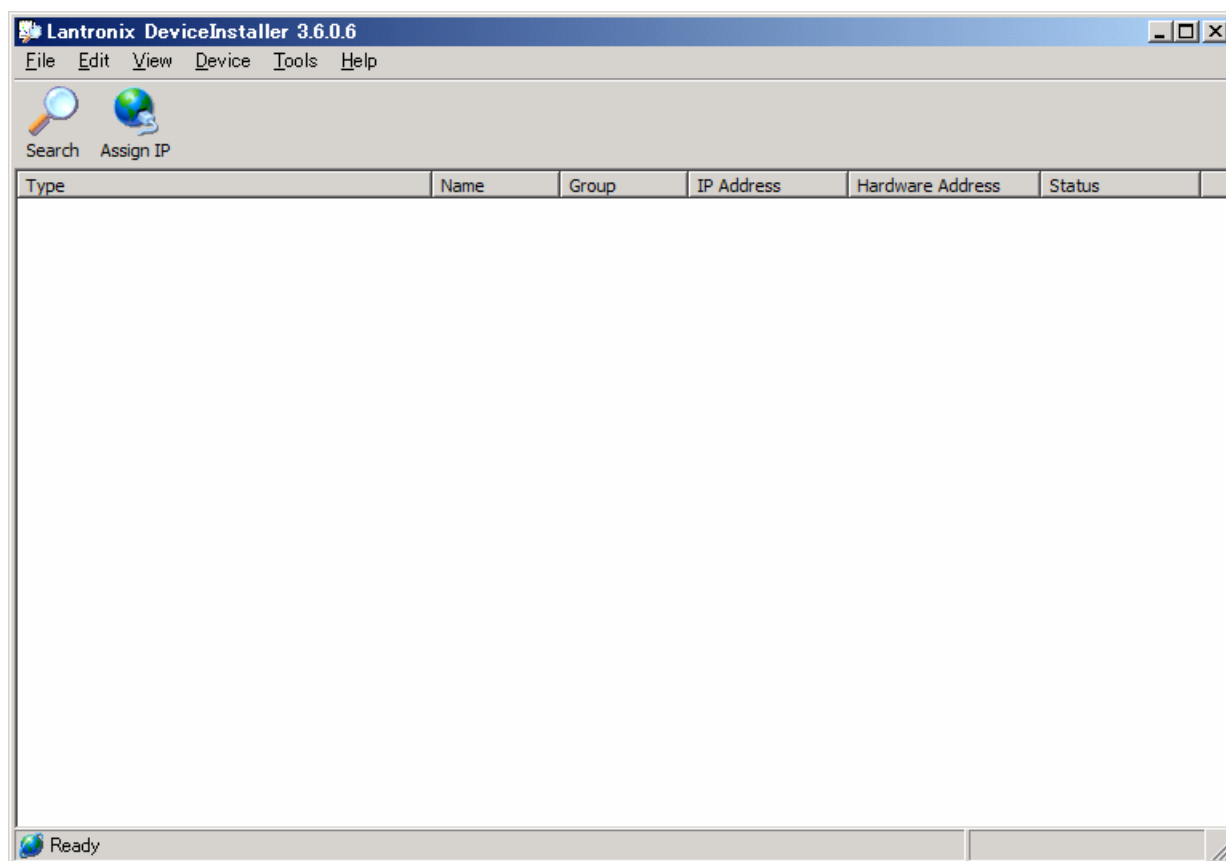
以上でインストールは終了です。

X P o r t のボーレートおよび I P A d d r e s s の設定

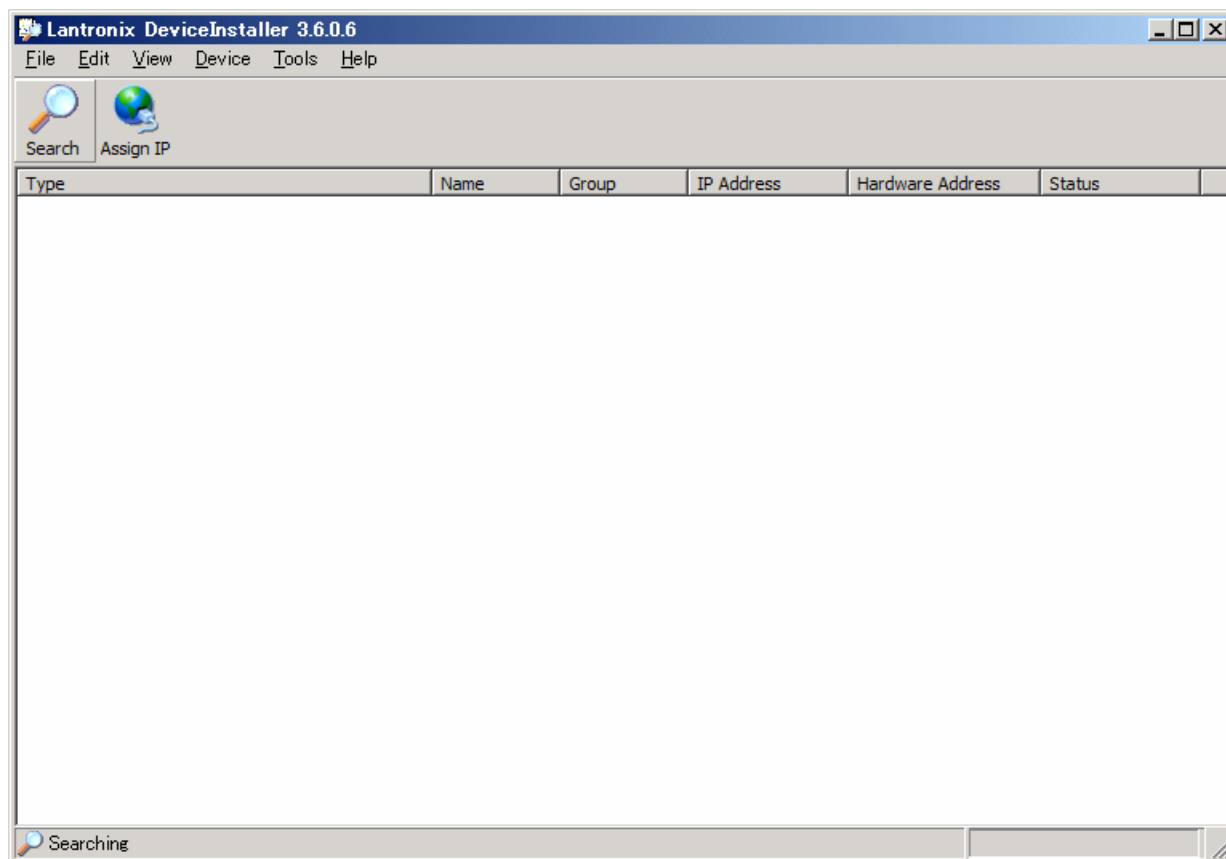
※X P o r t _ D e v i c e I n s t a l l e r _ 3 6 0 6 にて、X P o r t の I P A d d r e s s およびボーレートを設定します。

1. 「スタート」、「プログラム (P)」、「L a n t r o n i x」、「D e v i c e I n s t a l l e r」、「D e v i c e I n s t a l l e r」をクリックします。

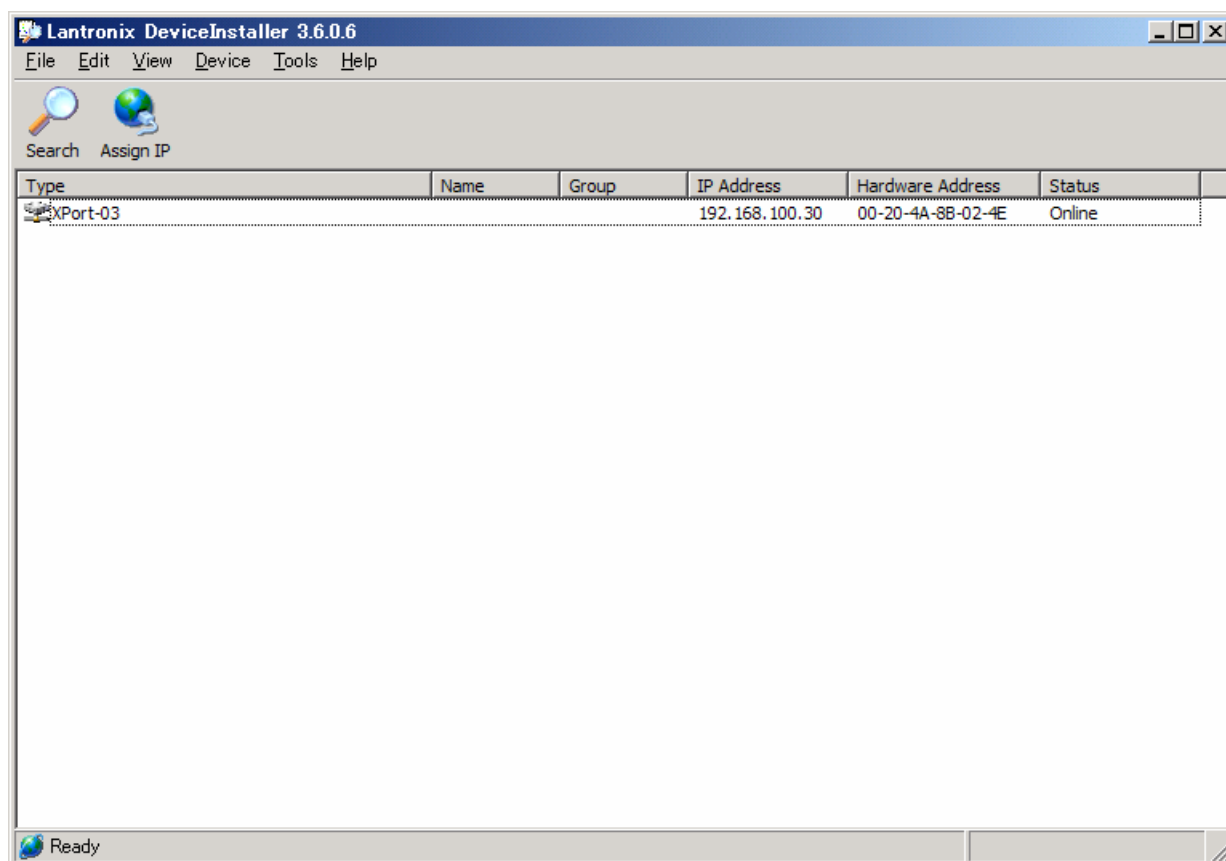
2. 以下の画面が表示されます。



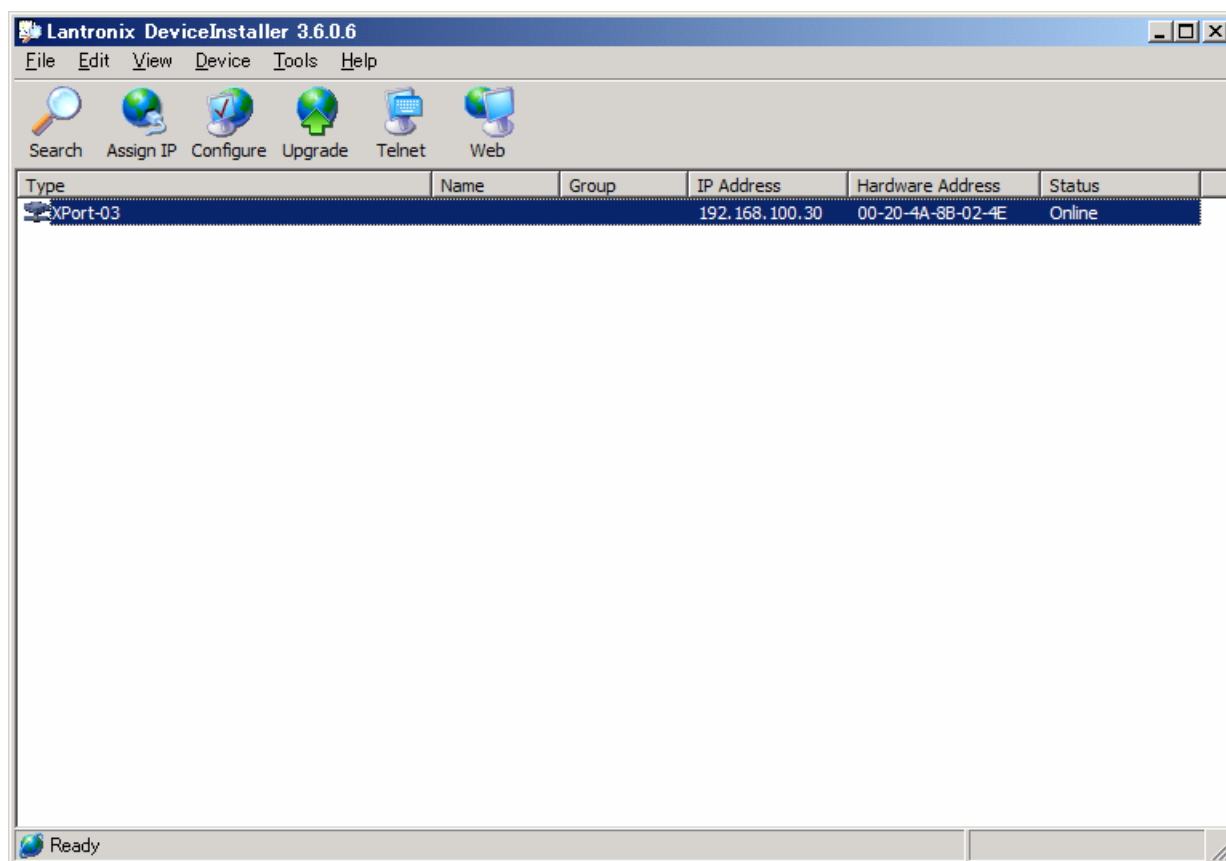
3. “Search” をクリックしますと、ネットワークにある X P o r t をサーチし始めます。



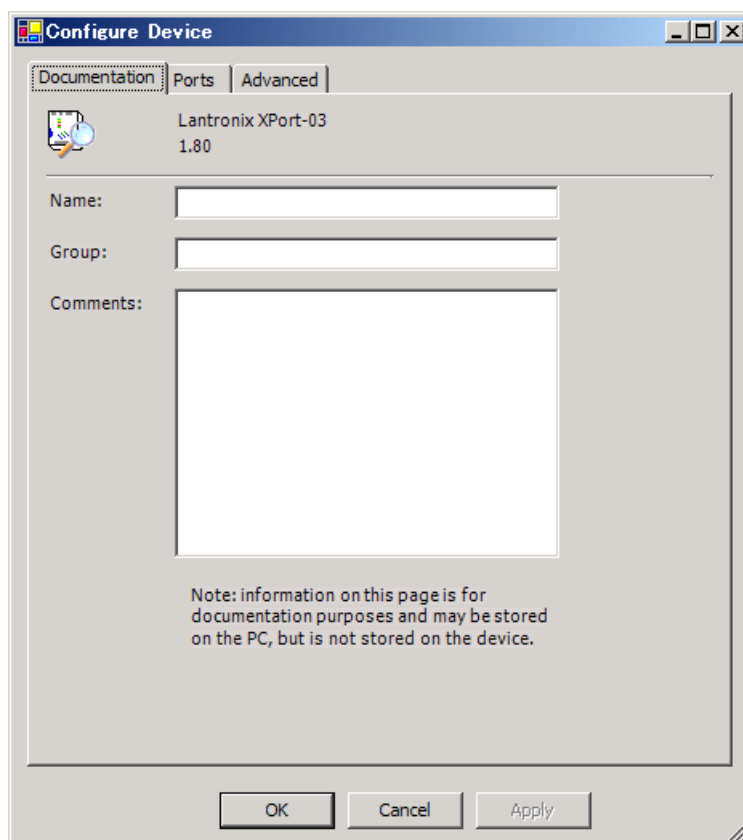
4. X P o r t が見つかりと以下のように表示されます。



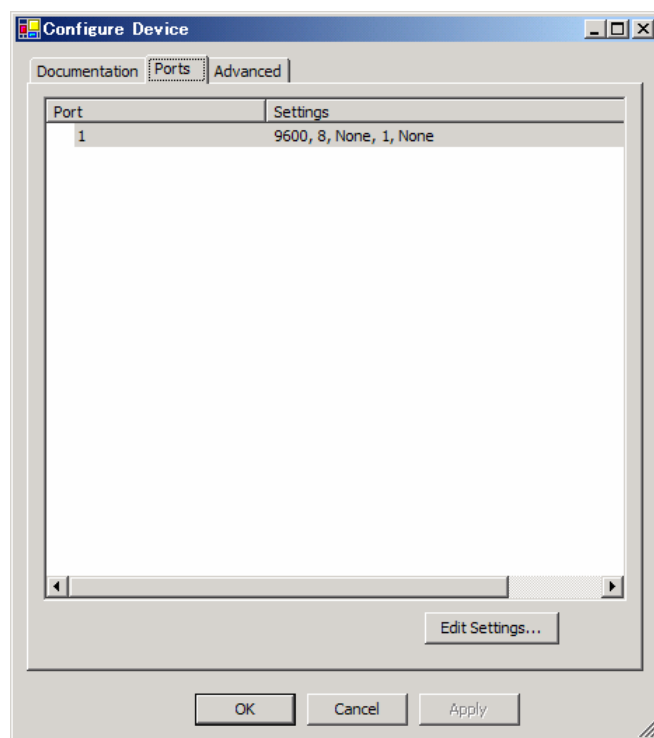
5. 見つかった X P o r t をクリックすると、メニューが現れます。



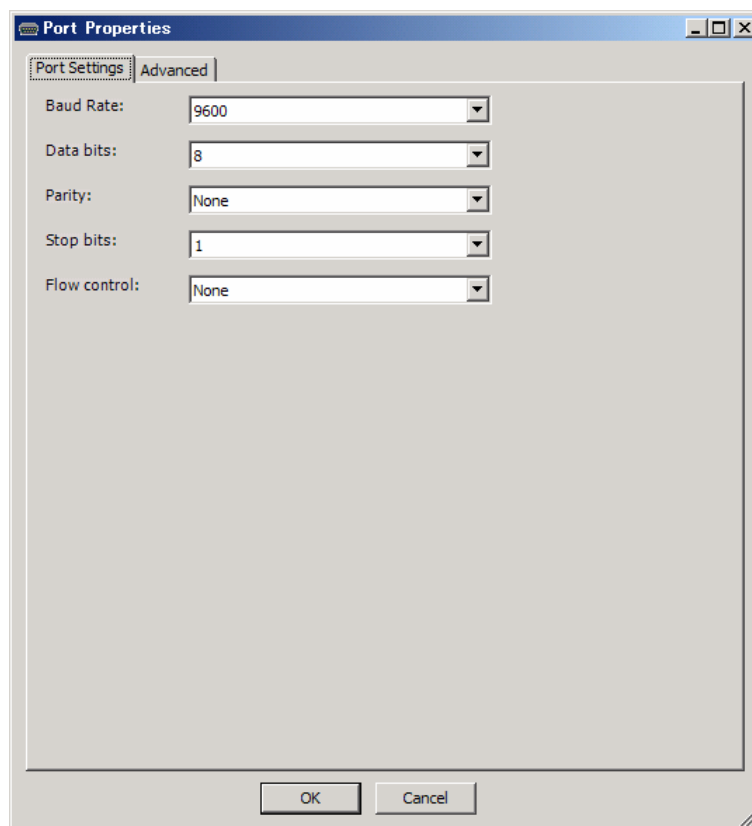
7. “C o n f i g u r e” をクリックすると、下記が表示されます。



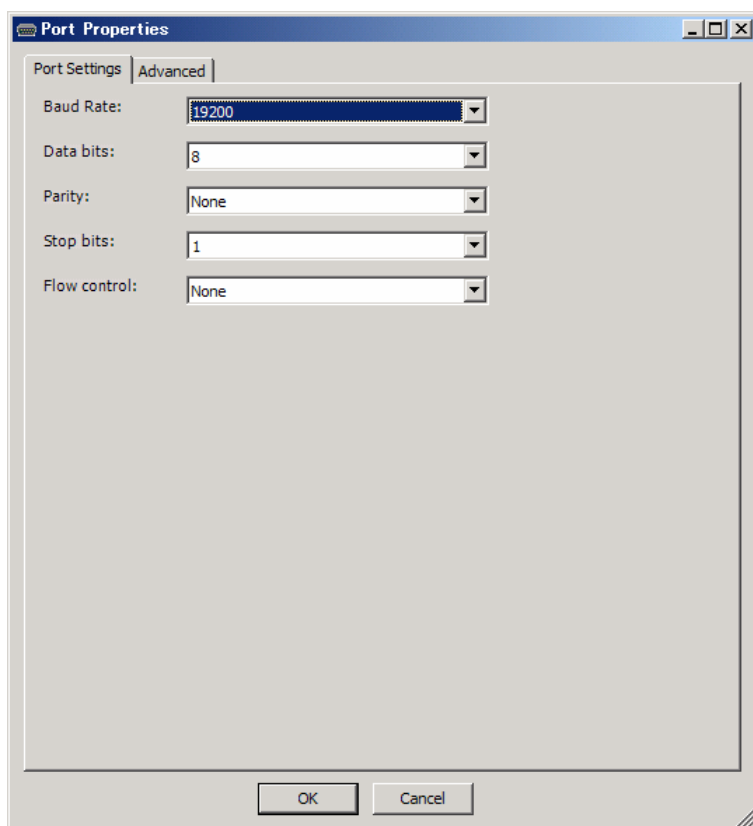
8. “P o r t s” をクリックします。



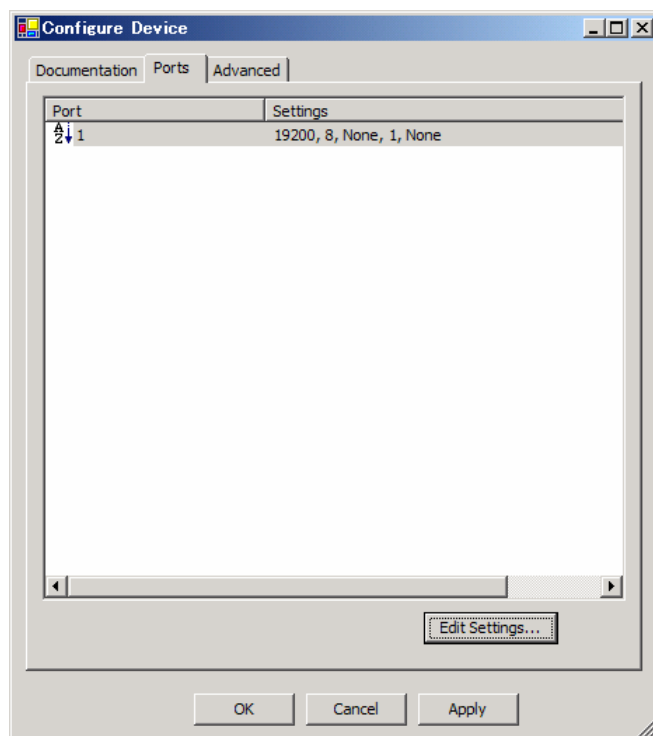
9. “E d i t S e t t i n g s . . .” をクリックします。



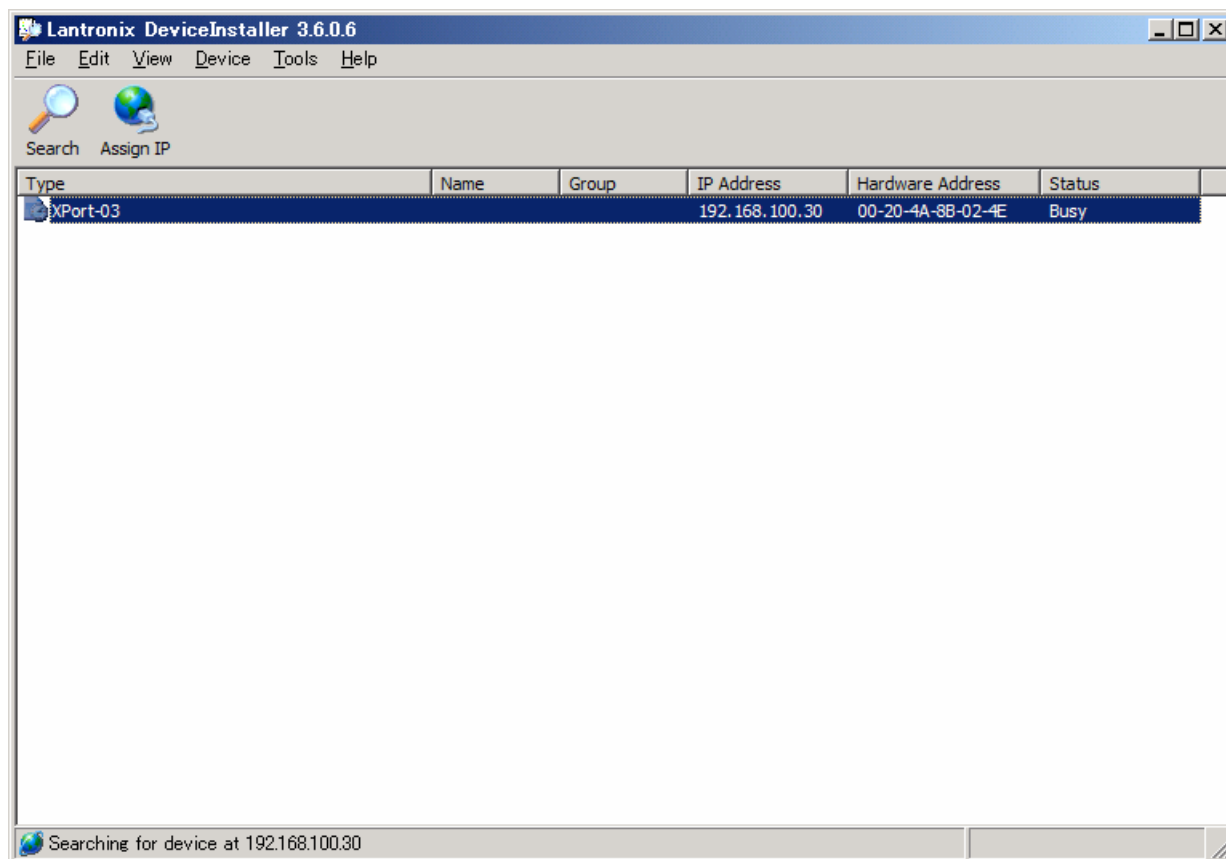
10. “Baud Rate” をモニターで設定したボーレートと同じにします。下記は、19200にした場合の例です。選択後、“OK” をクリックします。



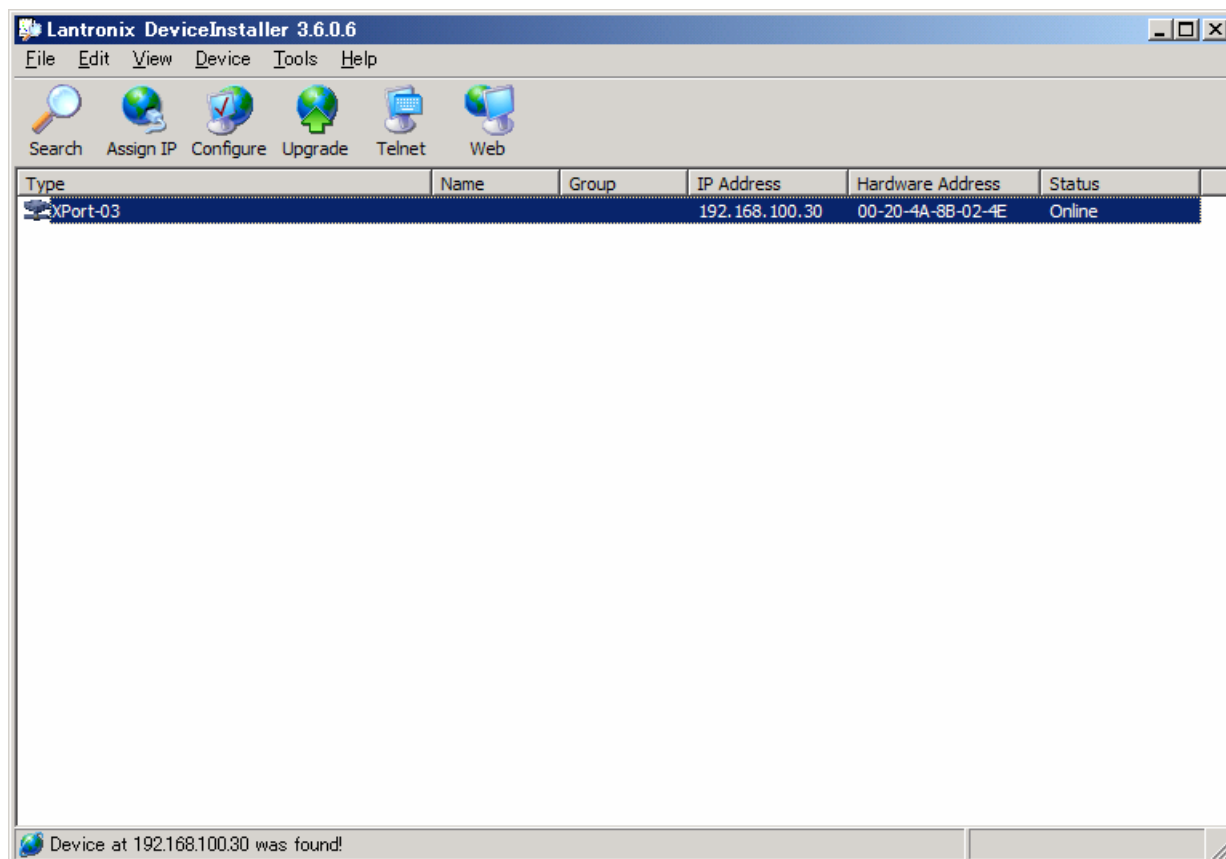
11. 以下のように表示しますので、“Apply” をクリックし、“OK” をクリックします。



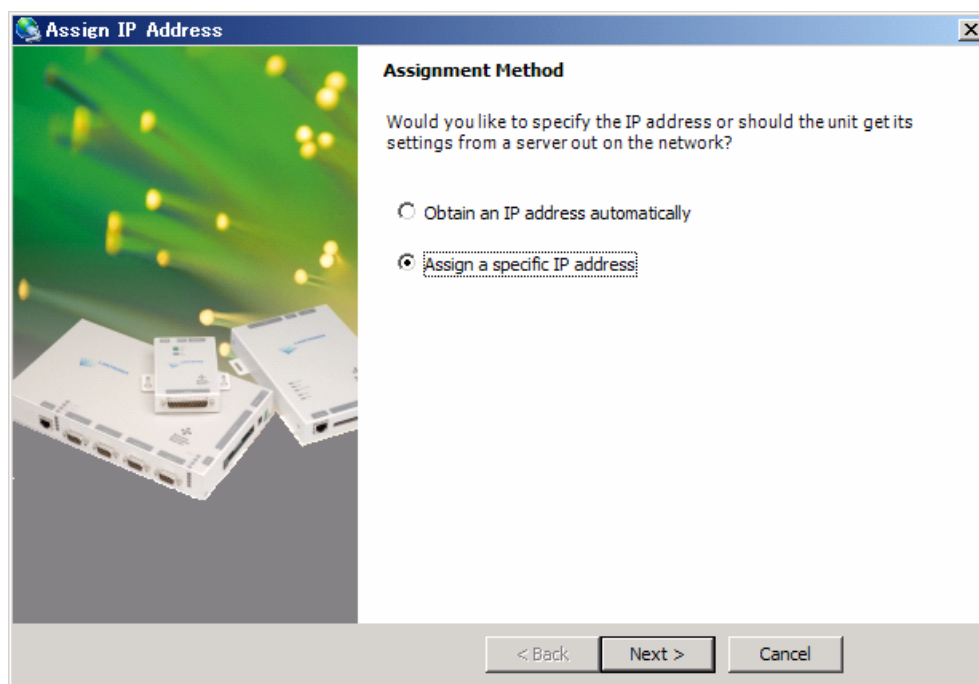
1 2. 再度サーチ状態に入ります。



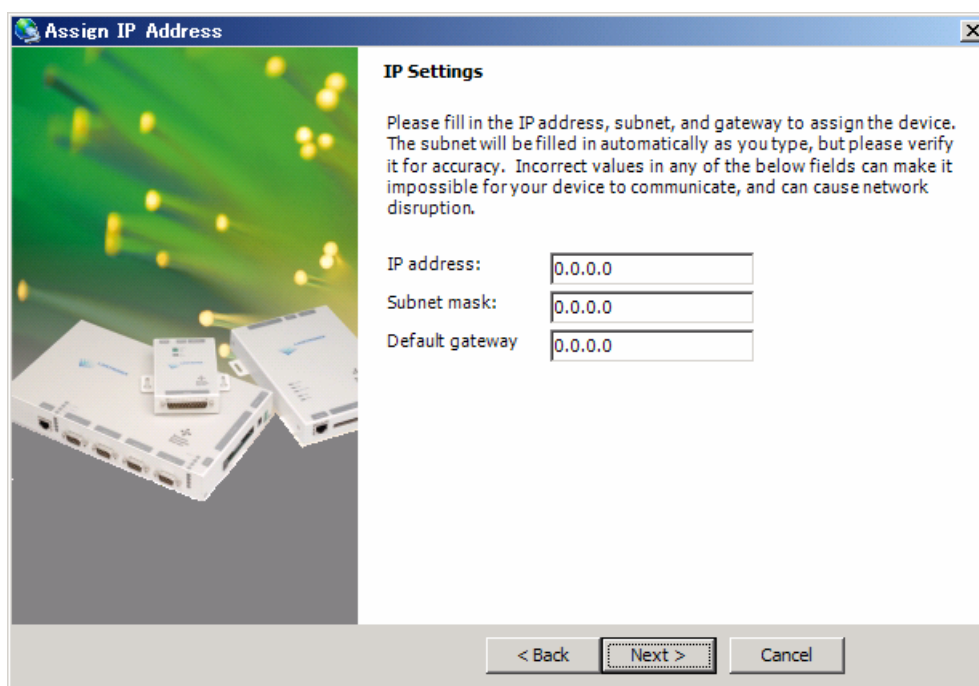
1 3. ボーレートが設定されると、再度メニューが表示されます。



14. IPアドレスを変更します。“Assign IP”をクリックすると下記が表示されます。



15. “Assign a specific IP address” 選択し、“Next >” をクリックすると下記が表示されます。
何も設定されていない場合には、下記のようにすべて “0” になっています。

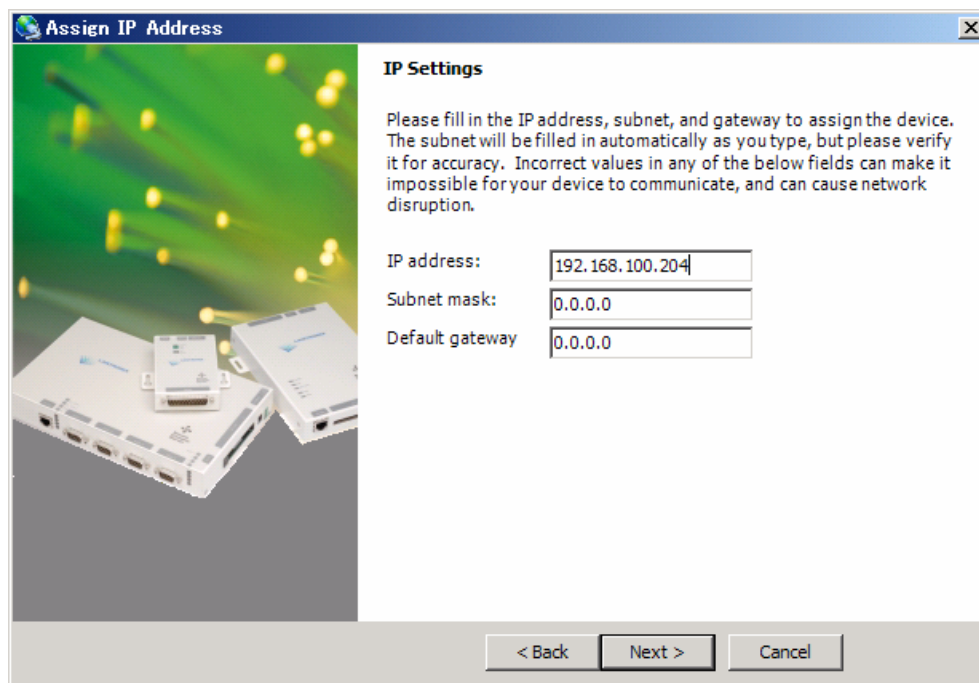


16. IP address : に、アドレスを設定します。

下記例の、IPアドレス「192.168.100.204」はアマダミヤチで使用しているものなので使用しないでください。

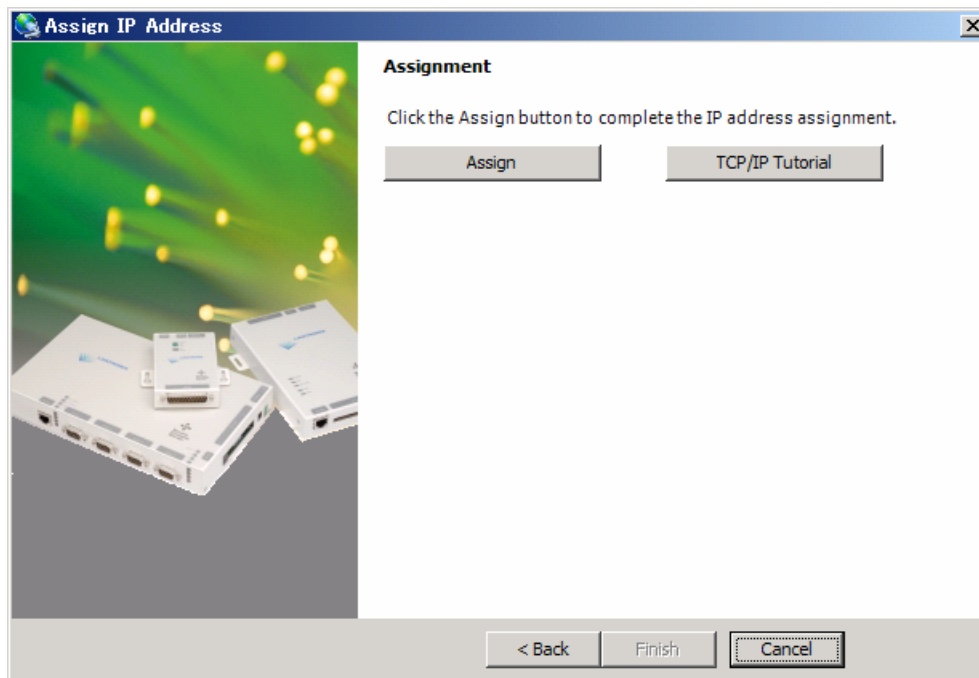
実際に入力するときは、貴社のIPアドレスをご使用ください。

社内LANに接続しないでご使用になる場合は、下記IPアドレスを使用することができます。



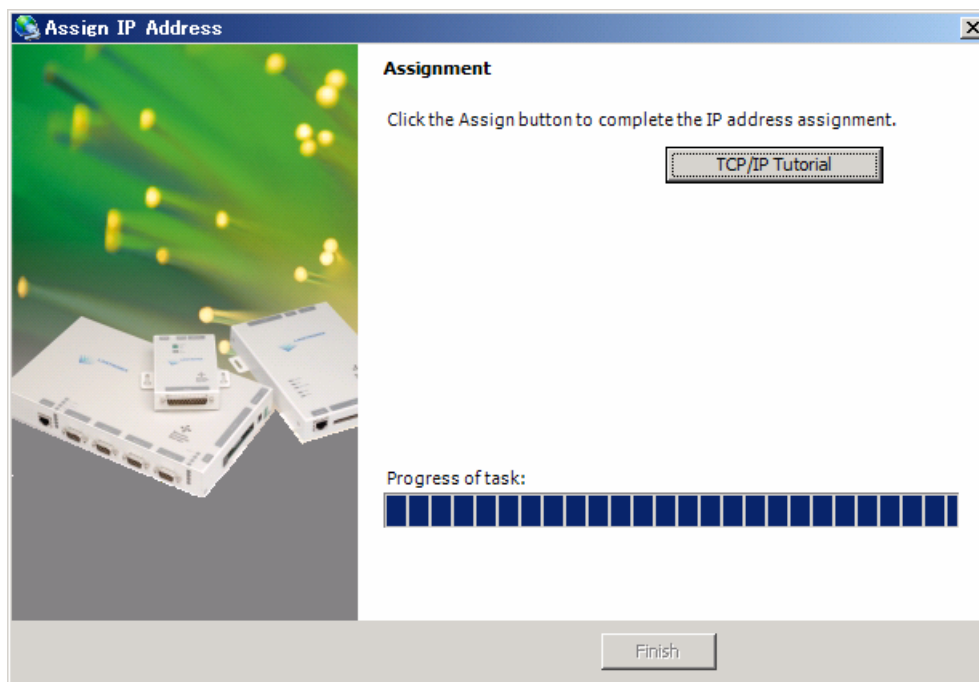
The image shows a Windows-style dialog box titled "Assign IP Address". On the left is a graphic of network equipment (routers/switches) with glowing green lines representing data flow. The main area is titled "IP Settings" and contains a paragraph of instructions: "Please fill in the IP address, subnet, and gateway to assign the device. The subnet will be filled in automatically as you type, but please verify it for accuracy. Incorrect values in any of the below fields can make it impossible for your device to communicate, and can cause network disruption." Below this are three input fields: "IP address:" with the value "192.168.100.204", "Subnet mask:" with "0.0.0.0", and "Default gateway" with "0.0.0.0". At the bottom are three buttons: "< Back", "Next >", and "Cancel".

17. “Next >” をクリックすると下記が表示します。

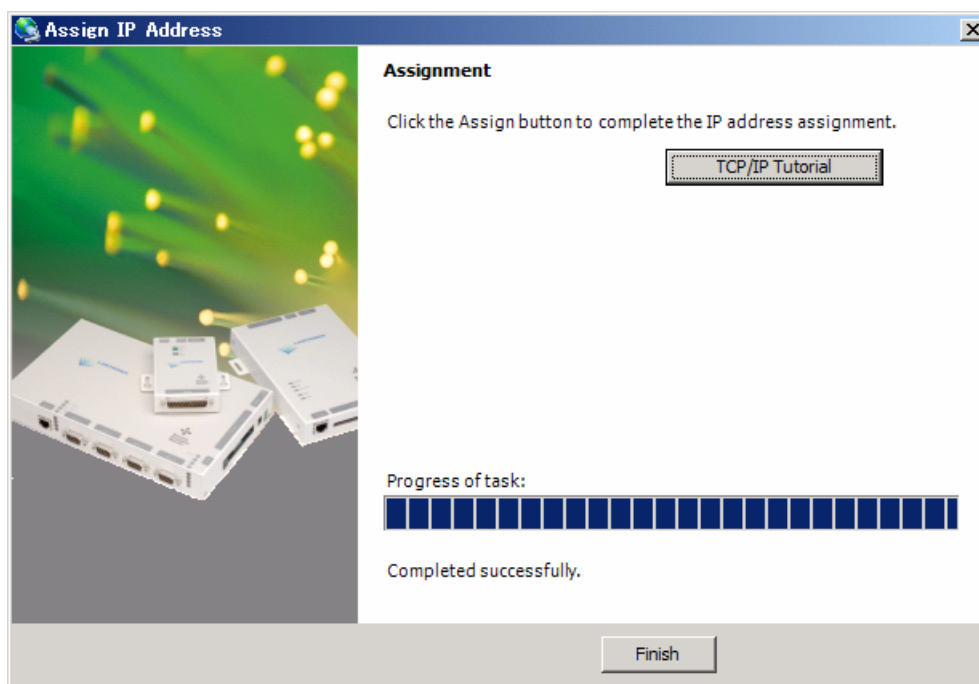


The image shows the same "Assign IP Address" dialog box, but now on the "Assignment" screen. The left graphic remains. The main area is titled "Assignment" and contains the instruction: "Click the Assign button to complete the IP address assignment." Below this are two buttons: "Assign" and "TCP/IP Tutorial". At the bottom are three buttons: "< Back", "Finish", and "Cancel".

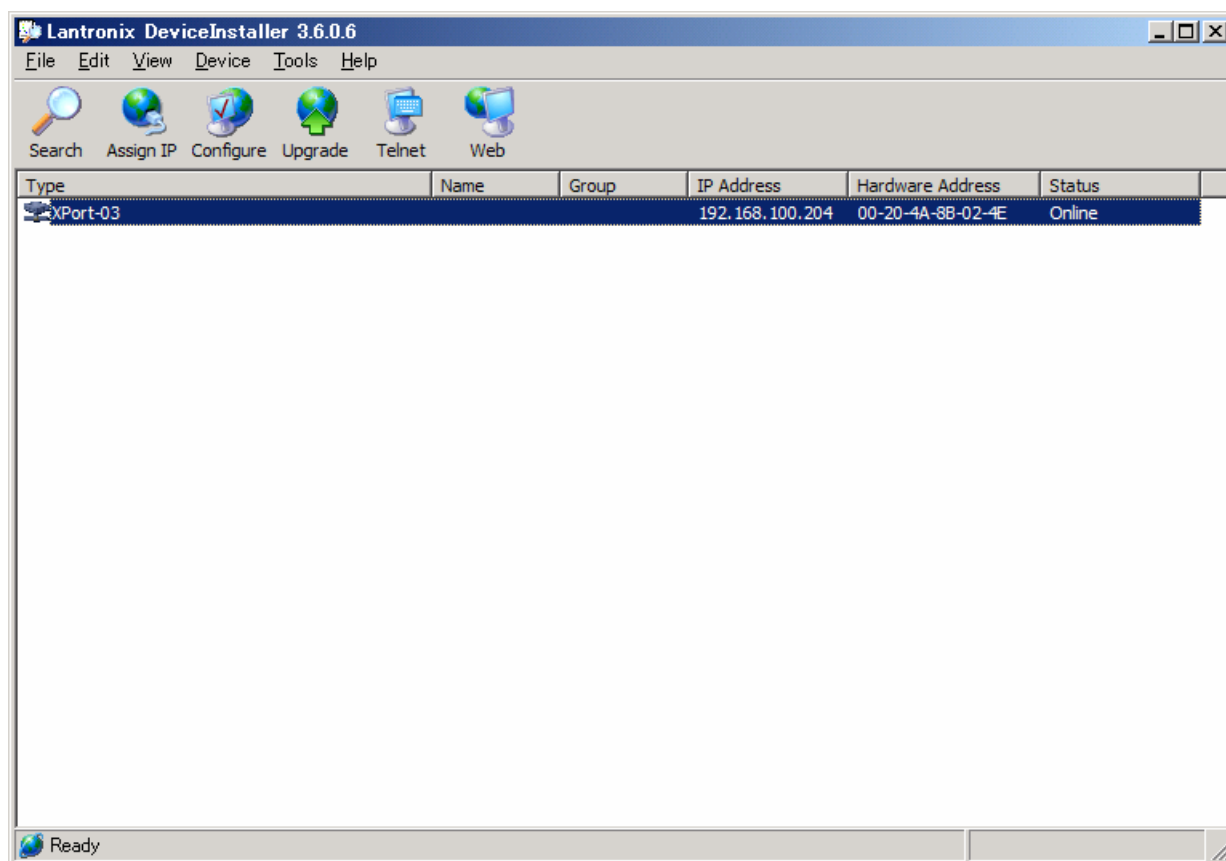
18. “Assign” をクリックすると、送信を開始します。



19. 送信が終了したら、“Finish” をクリックします。

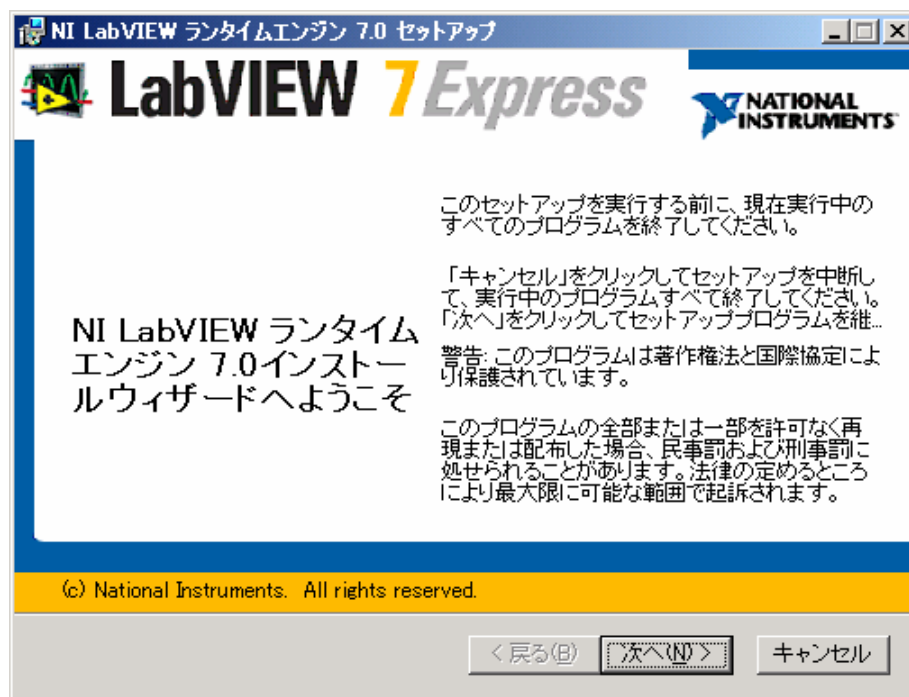


20. アドレス変更が完了すると、下記のように I P A d d r e s s が書き換わります。

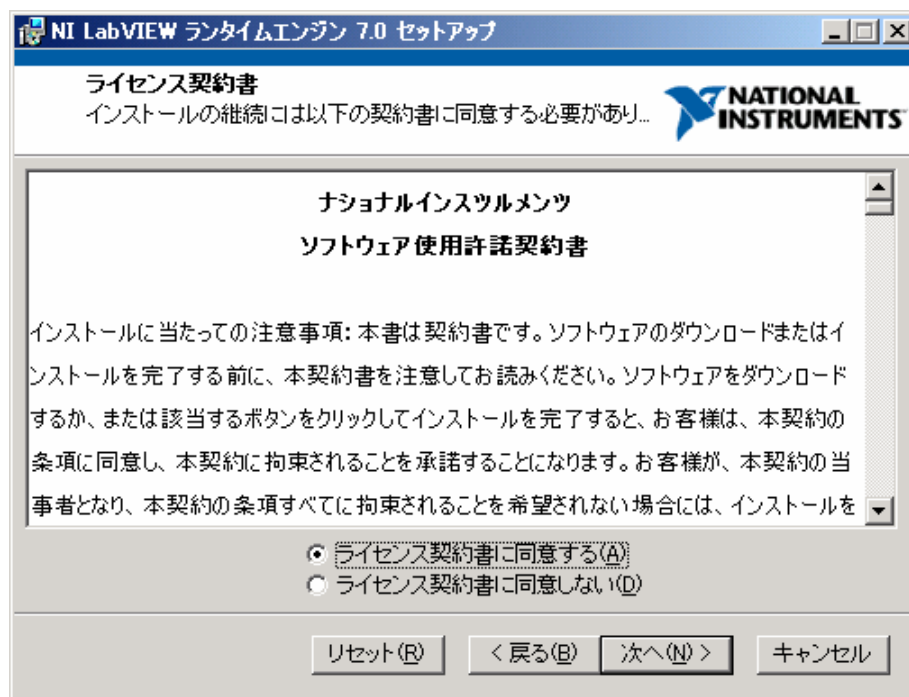


NI LabVIEWランタイムエンジン 7.0 のインストール

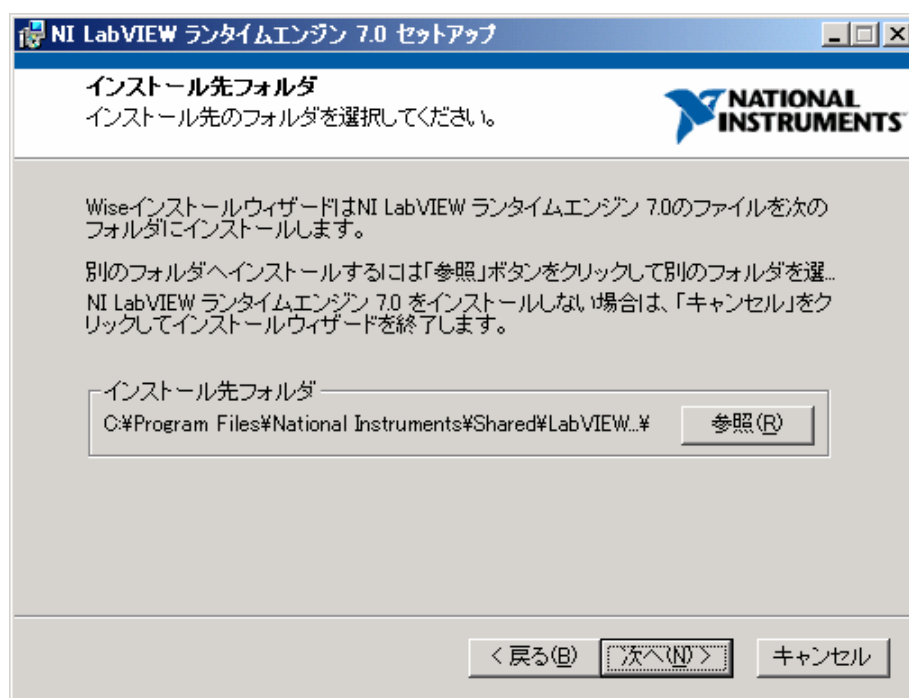
1. CD-R内の [LvRunTimeEng70.msi] をダブルクリックします。
「Administrator」でインストールしてください。
2. 下記画面が表示されます。“次へ (N) >” のボタンをクリックします。



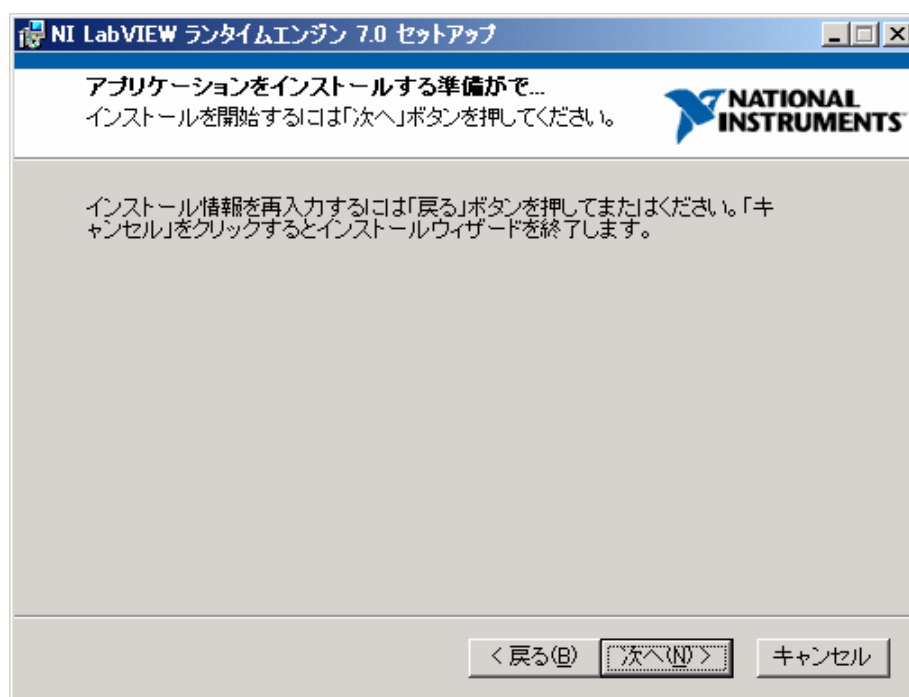
3. 下記が表示されますので、“ライセンス契約書に同意する (A)” を選択し、“次へ (N) >” のボタンをクリックします。



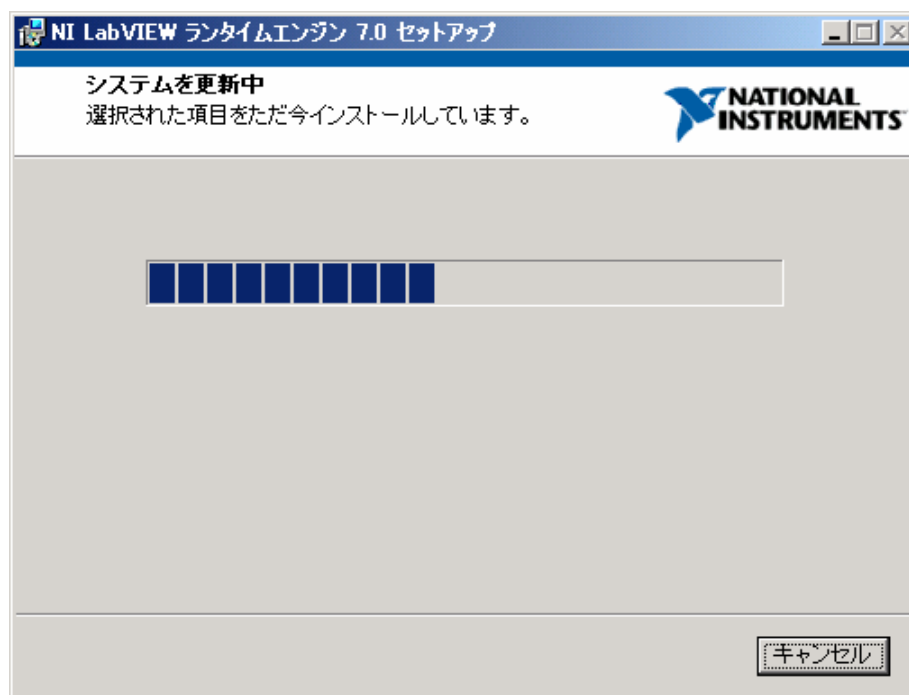
4. インストール先フォルダを指定してきますので、変更しない場合は“次へ (N) >”のボタンをクリックします。



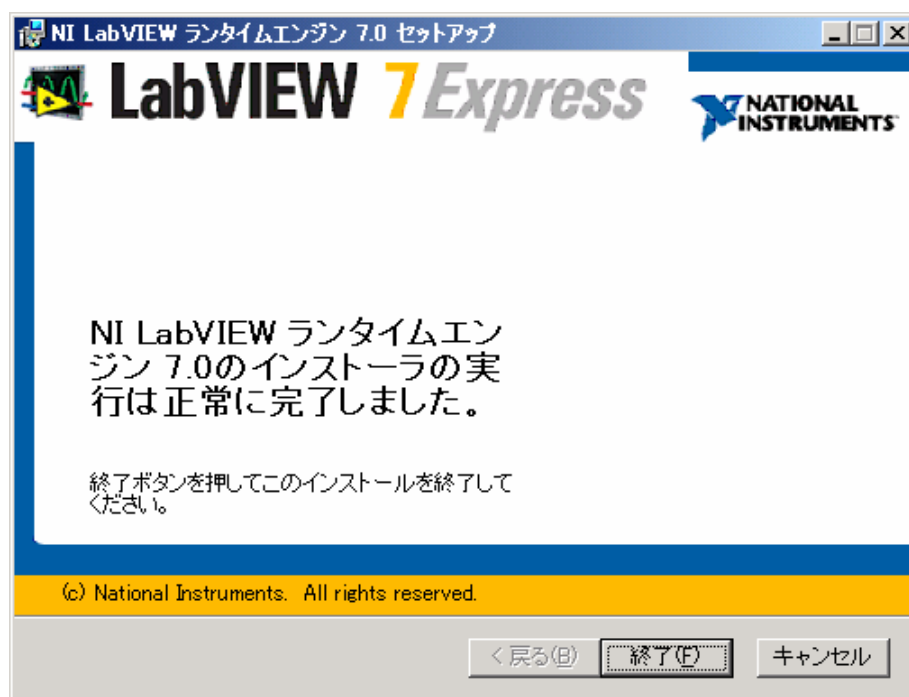
5. 下記画面が表示されます。“次へ (N) >”のボタンをクリックしますと、インストールが開始されます。



6. インストール中です。



7. 下記画面が表示されます。“終了 (F)” のボタンをクリックします。以上で、インストールは終了です。

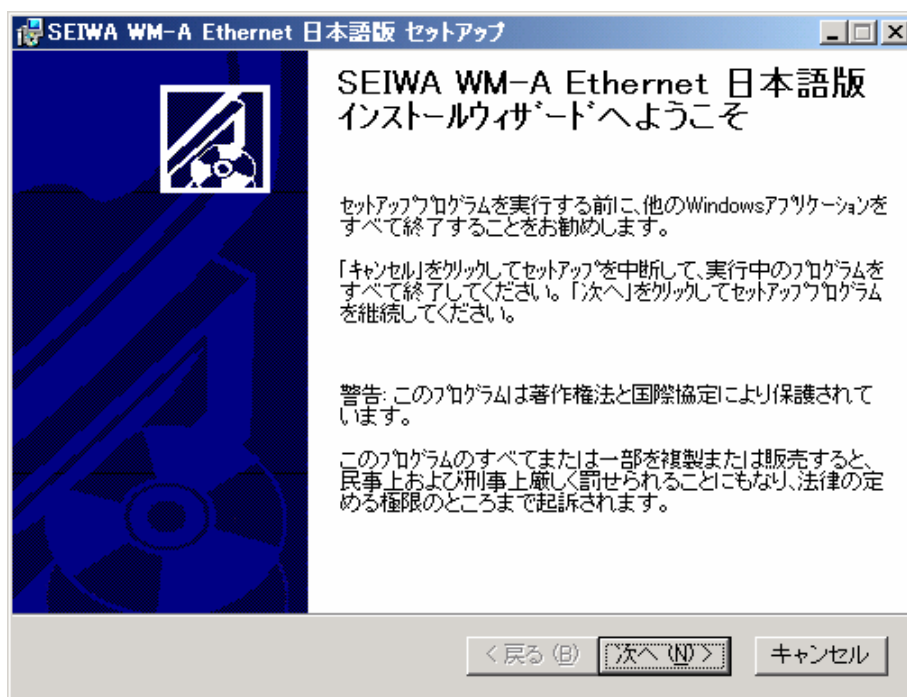


WM-A Ethernet_JPNのインストール

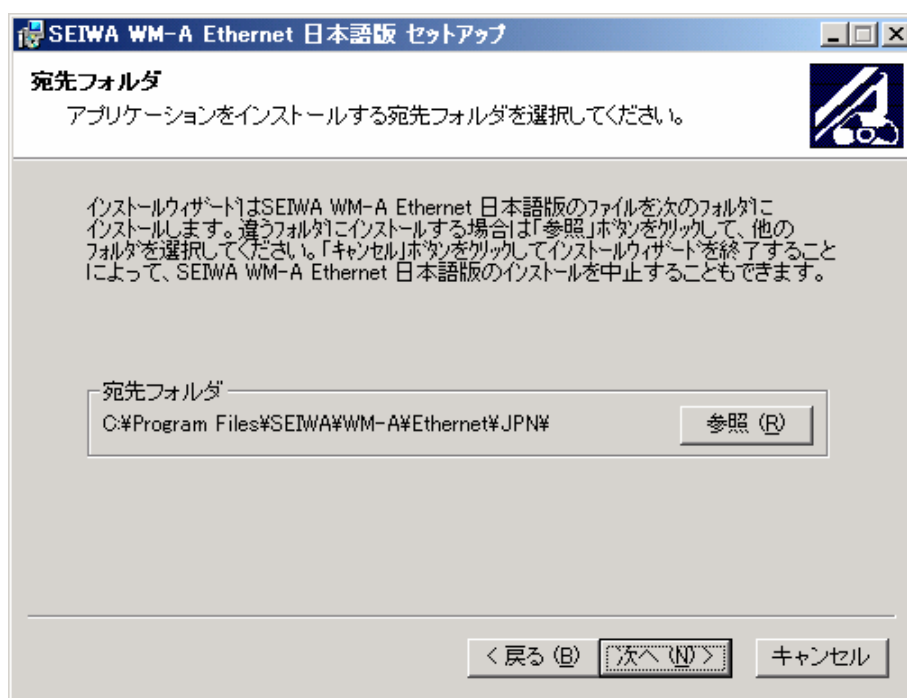
1. CD-R内の [WM-A Ethernet_JPN] フォルダ内の “Setup.exe” をダブルクリックする。



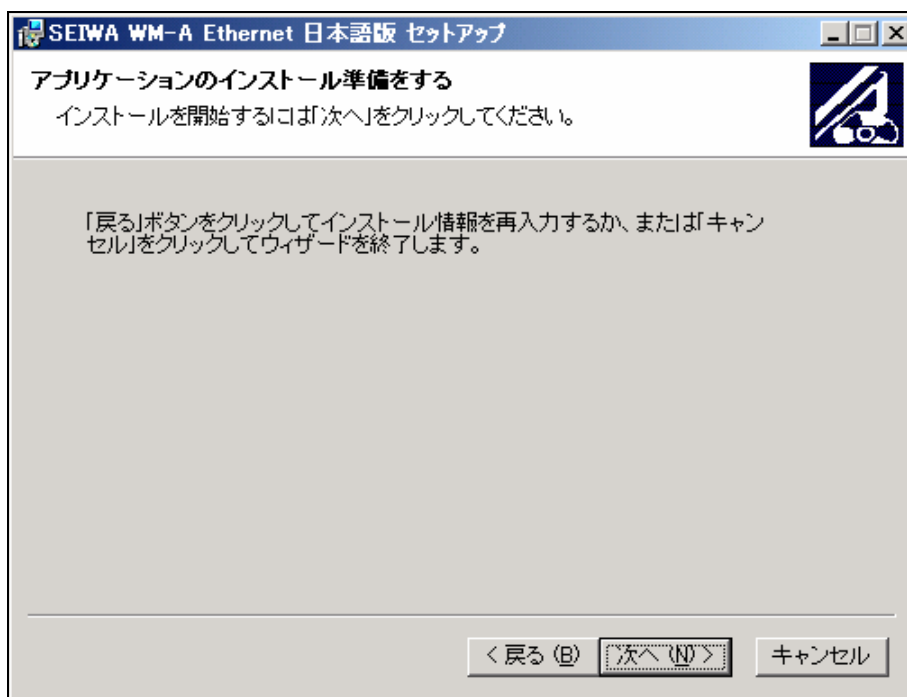
2. 下記画面が表示されます。“次へ (N) >” をクリックします。



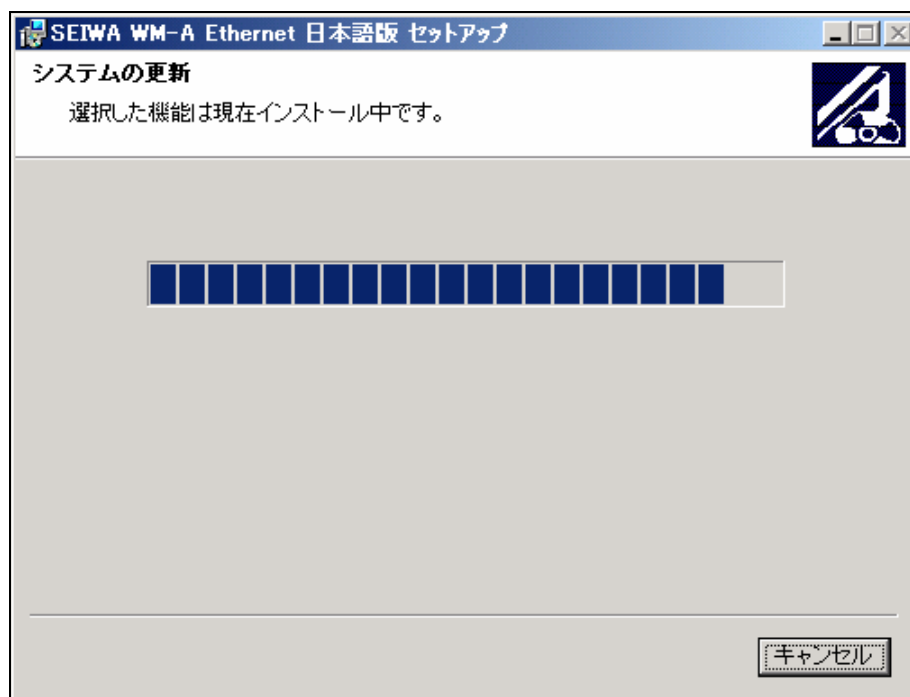
3. インストール先フォルダを指定してきますので、変更しない場合は“次へ (N) >”のボタンをクリックします。



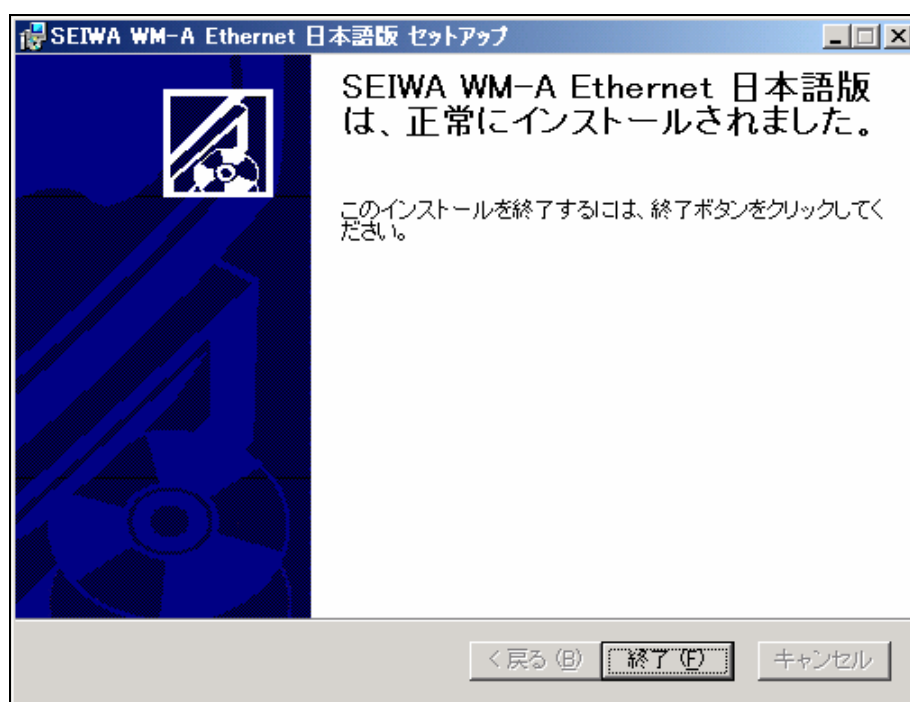
4. 下記画面が表示されます。“次へ (N) >”をクリックします。



5. 下記画面が表示されます。



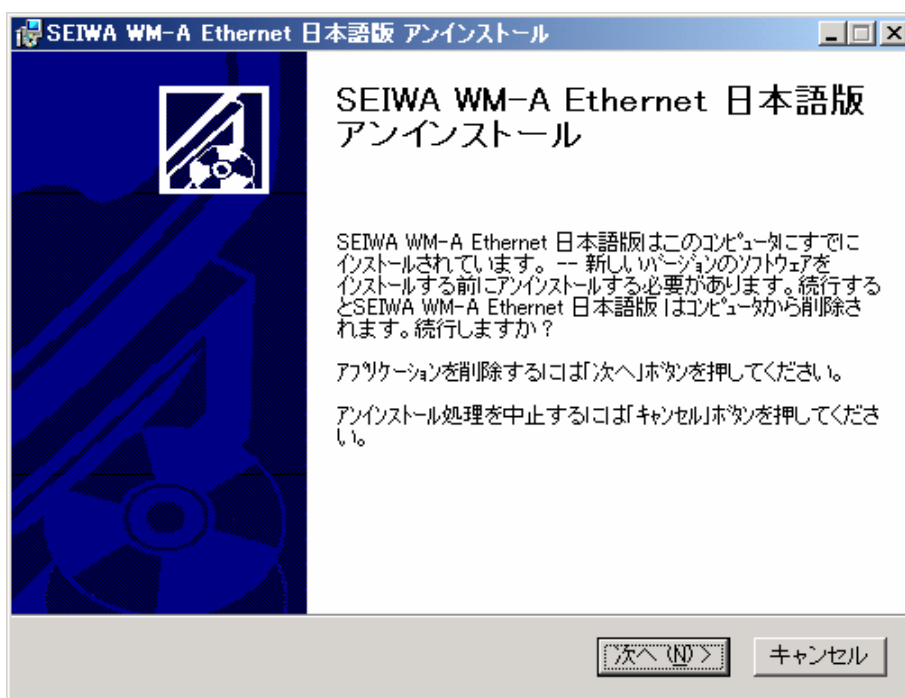
6. 下記画面が表示されます。“終了 (F)” をクリックします。以上でインストールは終了です。



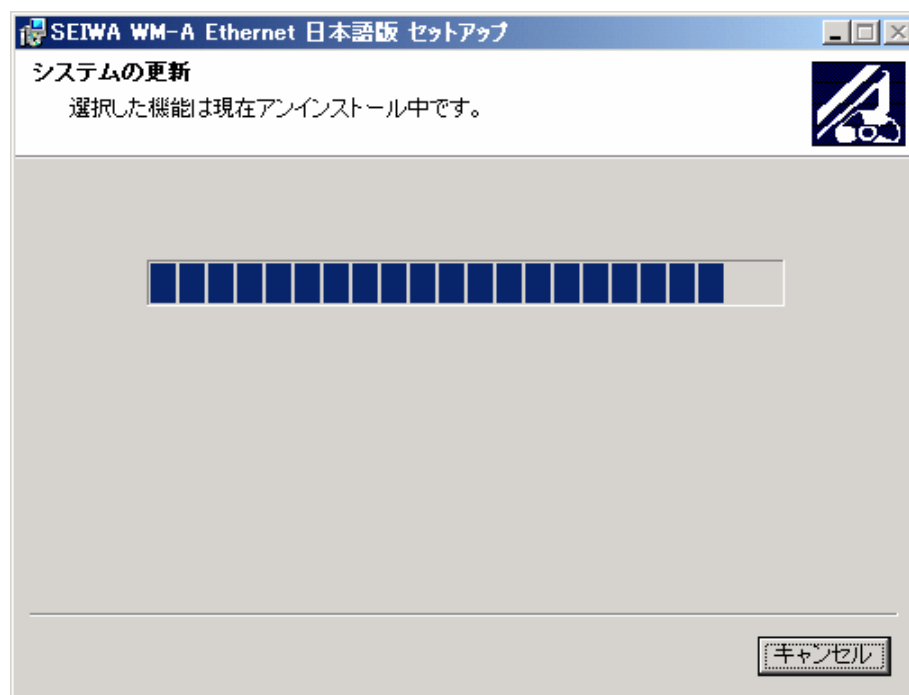
7. バージョンアップをインストールする場合は、インストールしてあるソフトをアンインストールしてから、バージョンアップをインストールしてください。アンインストールの手順を以下に示します。アンインストールする場合は、CDの「HCP-Ethernet_JPN」フォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックする。



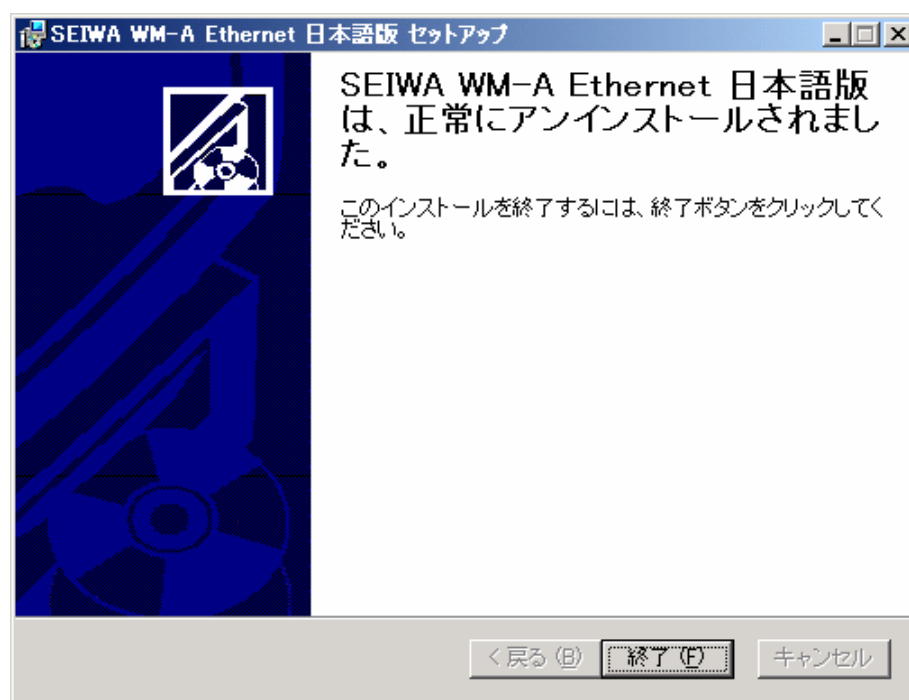
8. 下記画面が表示されます。“次へ (N) >” をクリックします。アンインストールを開始します。



9. 下記画面が表示されます。



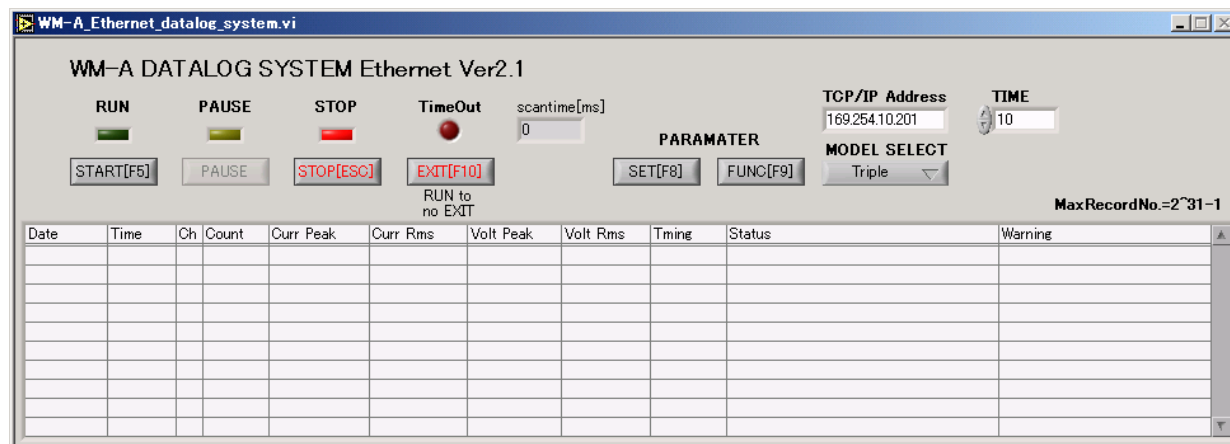
10. 下記画面が表示されます。“終了 (F)” をクリックします。以上でアンインストールは終了です。



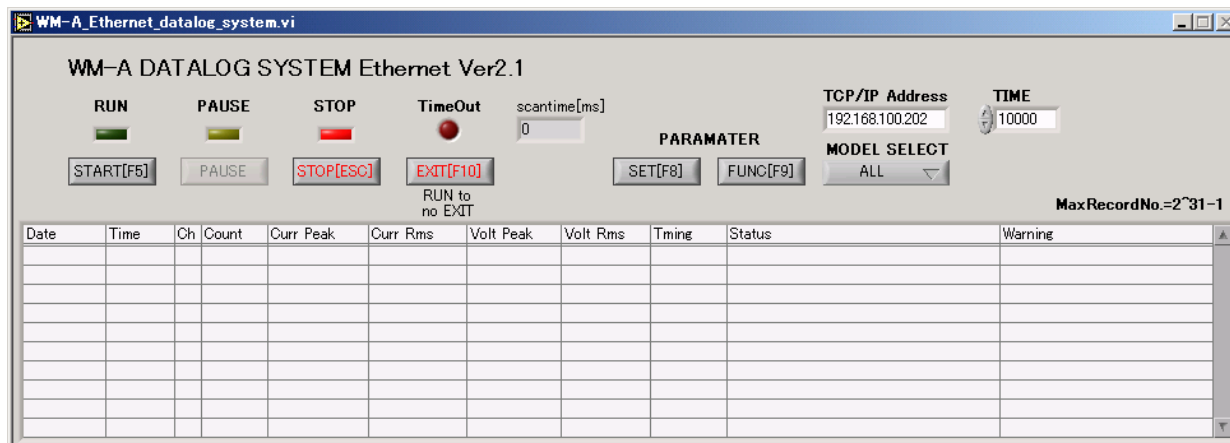
WM-A Ethernet_JPNの使用方法

※CD内の“LVRunTimeEng70.msi”をインストール後、本ソフトを起動してください。

1. 「スタート」の「プログラム (P)」の「SEIWA」の「WM-A Ethernet_JPN」をクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。



3. 接続するモニターのX P o r t に設定されているアドレスと同じアドレスを“T C P / I P A d d r e s s”に設定します。自動保存回数を“T I M E”に設定します。設定した回数に達すると自動保存します。接続するモニターに設定されているモードと同じモードを“M O D E L S E L E C T”に設定します。設定した内容は保存されます。



7. モニターより通信データ応答がない場合は、下記が表示します。

また、Time Out LEDが明るくなり、scan timeの数字が固定値になります。固定値は任意の数字です。この場合、パソコンの異常、モニターの異常、通信ケーブルの異常が考えられます。

また、通信をしていて、急に通信できなくなった場合、下記のことを行ってみてください。

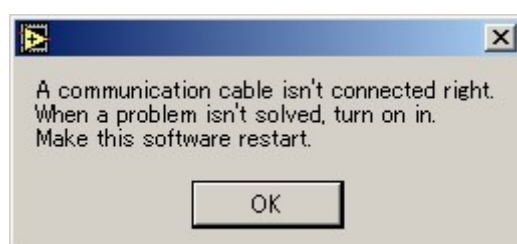
STARTキーとSTOPキーを交互に何度も押してみてください。通信が回復する可能性があります。

通信ケーブルの接続確認をしてください。コネクタが緩んでいたり、接触不良の可能性があります。各モニターの電源を再投入してください。モニターの通信回線異常の可能性があります。

本ソフトウェアを再起動してください。パソコンの異常の可能性があります。

購入直後、初めて使用したときに通信ができないときは、パソコンの設定、Windowsの設定が、正しいか確認してください。

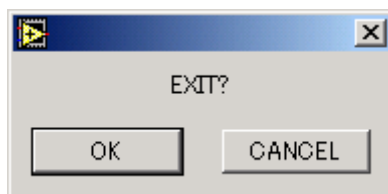
それでも、通信が接続されない場合は、モニター自信の異常が考えられますので、修理返却をお願いいたします。



8. 本ソフトウェアを終了する場合は、“EXIT [F10]”をクリックします。

クリックすると下記が表示されますので“OK”をクリックします。

下記が表示されない場合は、測定したデータを保存していないので“STOP [ESC]”をクリックしてください。



注意：問題が起こった場合は、ソフトを終了させ、パソコンを再起動してください。また、モニター本体の電源もON/OFFしてください。